

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和2年度第1・四半期

(令和2年4～6月)

目 次



新型コロナウイルス感染症にかかる
緊急経営相談窓口

都内中小企業の景況（令和2年4～6月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和2年4～6月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製造業	4
卸売業	9
小売業	13
サービス業	18
建設業	22
日銀短観	26
東京都と品川区の企業倒産動向	26
特別調査「新型コロナウイルス感染症による影響」	27
中小企業景況調査 比較表・転記表	31

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和2年4～6月期）

業況：全体ではやや悪化となるも、小売業では大幅に改善。
見通し：全業種で大きく改善の見通し。



業況DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲62（前期は▲57）と、やや悪化した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比21ポイント増の▲41と、極端な改善が見込まれている。

	前期 (R2.3)	今期 (R2.6)	増減	今後3ヶ月間の 見通し
製造業	▲53	▲66	▲13	▲47
卸売業	▲57	▲66	▲9	▲41
小売業	▲75	▲61	14	▲40
サービス業	▲50	▲56	▲6	▲35
全体	▲57	▲62	▲5	▲41

令和2年6月の都内中小企業の業況DIは、前期から5ポイント減の▲62と、やや悪化した。今後3ヶ月間の業況見通しDIでは、今期比21ポイント増の▲41と、極端に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、小売業（▲61）は14ポイント増と大幅に改善した。一方で、製造業（▲66）は13ポイント減、卸売業（▲66）は9ポイント減、サービス業（▲56）は6ポイント減と大幅に悪化した。

なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（▲10）は7ポイント増と大幅に上昇した一方で、卸売業（▲5）は1ポイント増とほぼ前期並、製造業（▲3）は3ポイント減とやや下降した。

販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（▲11）は10ポイント増、サービス業（▲13）は7ポイント増と大幅に上昇し、卸売業（▲6）は4ポイント増とやや上昇した。一方で、製造業（▲9）は1ポイント増とほぼ前期並となった。

今後3ヶ月間の業況見通しDIを業種別にみると、全業種で大きく改善が見込まれている。製造業（▲47）は19ポイント増と大幅に改善する見通し。さらに、卸売業（▲41）は25ポイント増、小売業（▲40）は21ポイント増、サービス業（▲35）は21ポイント増と極端に改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

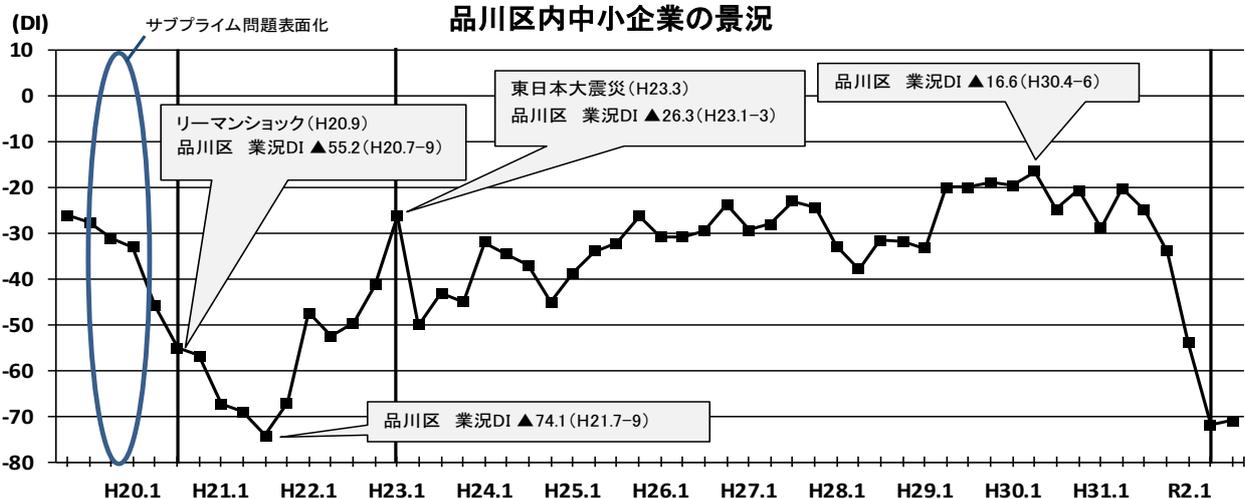
季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和2年4～6月期）

業況：全体の景況感は大きく悪化。製造業、卸売業、建設業で大幅に悪化した。
見通し：卸売業、小売業、サービス業で改善の見込み。



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。

今期（令和2年4～6月期）は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、業況DIは▲72と、平成20年以降で最悪となった平成21年7月～9月期の▲74まで肉薄する結果となった。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R1.10~12)	前期 (R2.1~3)	今期 (R2.4~6)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲41	▲49	▲65	▲75
卸売業	▲45	▲59	▲84	▲82
小売業	▲50	▲85	▲84	▲73
サービス業	▲18	▲64	▲67	▲53
建設業	▲17	▲32	▲65	▲73
全体	▲34	▲54	▲72	▲71

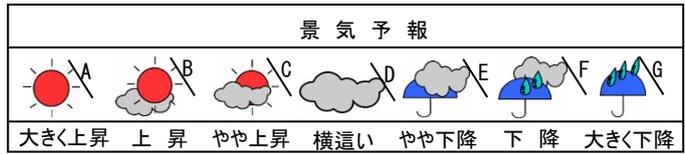
※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、前期と比較して大きく悪化する結果となった。来期（今後3ヶ月間の見通し）においても、ほぼ今期並の見通しとなっている。業種別にみると、小売業以外のすべての業種で業況DIが悪化しており、特に製造業、卸売業、建設業において低調感が大きく強まった。来期は卸売業、小売業、サービス業で改善の見通しとなっているものの、製造業、建設業ではよりいっそう低調感が強まる見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、6月（速報）は生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下した。製造工業生産予測調査では、6月は前月比5.7%、7月は9.2%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている6月の消費者物価指数（2015年=100）は101.7（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）と比べ0.1%上昇した。

品川区の今期の特徴点

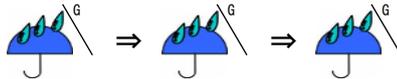


全体



業況は低調感がかなり強まった。売上額は減少幅が極端に拡大し、収益も減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向がかなり強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

製造業



業況は低調感がかなり強まった。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格はほぼ前期並となり、原材料価格は上昇傾向が極端に弱まった。在庫は過剰感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがかなり増した。

卸売業



業況は低調感が極端に強まった。売上額、収益はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格は下降傾向がかなり強まり、仕入価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

小売業



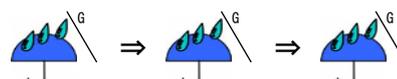
業況はほぼ前期並となった。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、仕入価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

サービス業



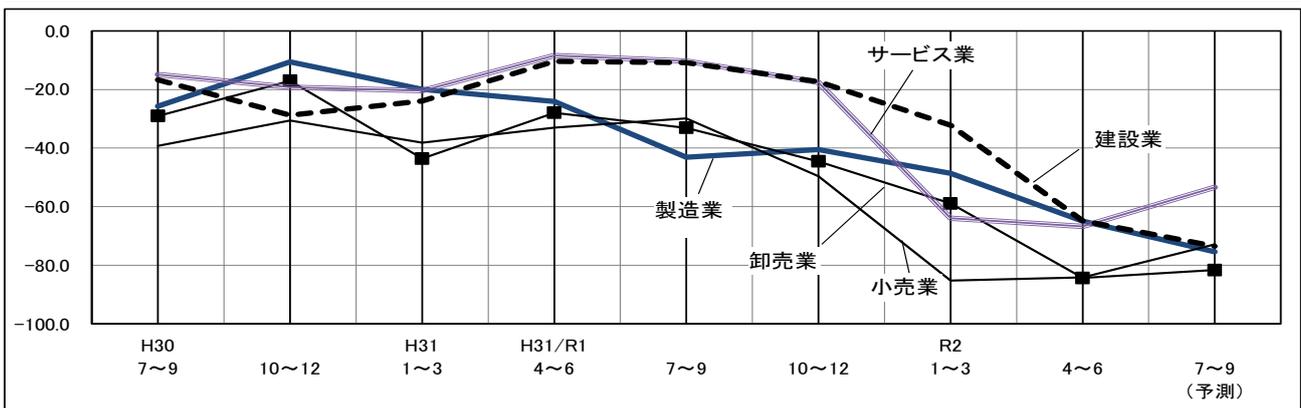
業況は低調感がやや強まった。売上額は減少幅がやや拡大し、収益も減少幅がかなり拡大した。料金価格は下降傾向がやや強まり、材料価格は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

建設業

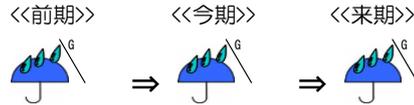


業況は低調感が極端に強まった。売上額、施工高、収益はともに減少幅が極端に拡大した。請負価格は下降傾向がかなり強まり、材料価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰に転じた。資金繰りは厳しさがかなり増した。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△49→△65)は低調感がかなり強まった。売上額(△43→△59)、収益(△48→△59)はともに減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は1ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△15→△17)はほぼ前期並となり、原材料価格(27→5)は上昇傾向が極端に弱まった。在庫(14→6)は過剰感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△31→△45)は厳しさがかなり増し、借入難易度(2→11)は容易さがかなり増した。今期借入れをした企業は42%で前期の27%から15ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

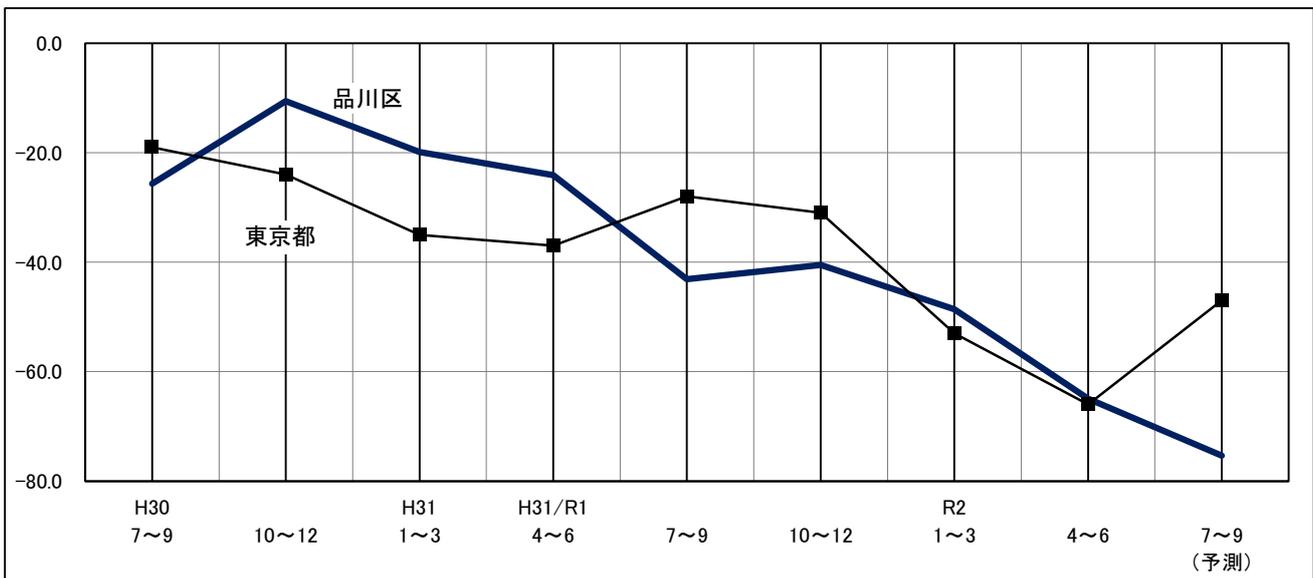
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が81%、2位は「利幅の縮小」が25%、3位は「工場・機械の狭小・老朽化」が18%となった。前期3位だった「原材料高」は今期圏外となり、前期4位だった「工場・機械の狭小・老朽化」が今期3位、前期圏外だった「人件費の増加」が今期4位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が63%、2位は「経費を節減する」が57%、3位は「新製品・技術を開発する」が22%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

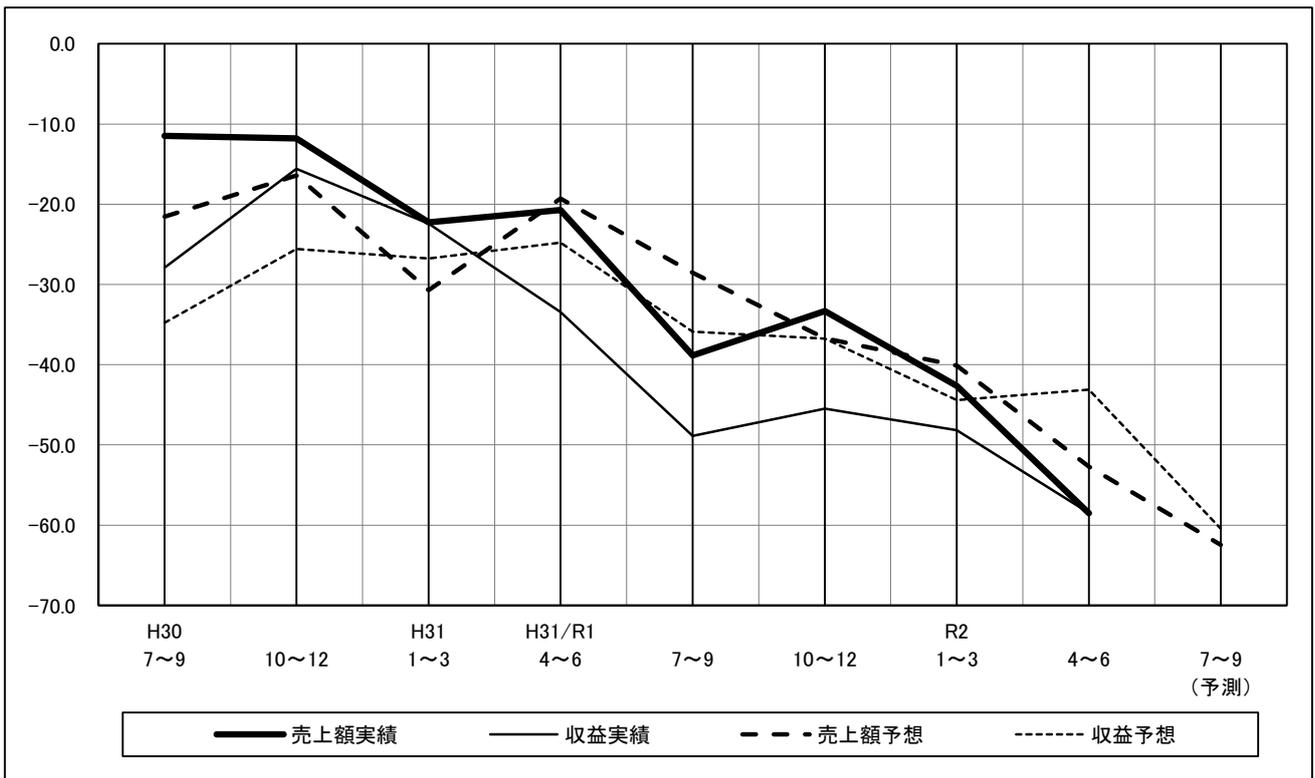
来期の見通し

業況(△65→△75)は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや拡大すると予想されている。

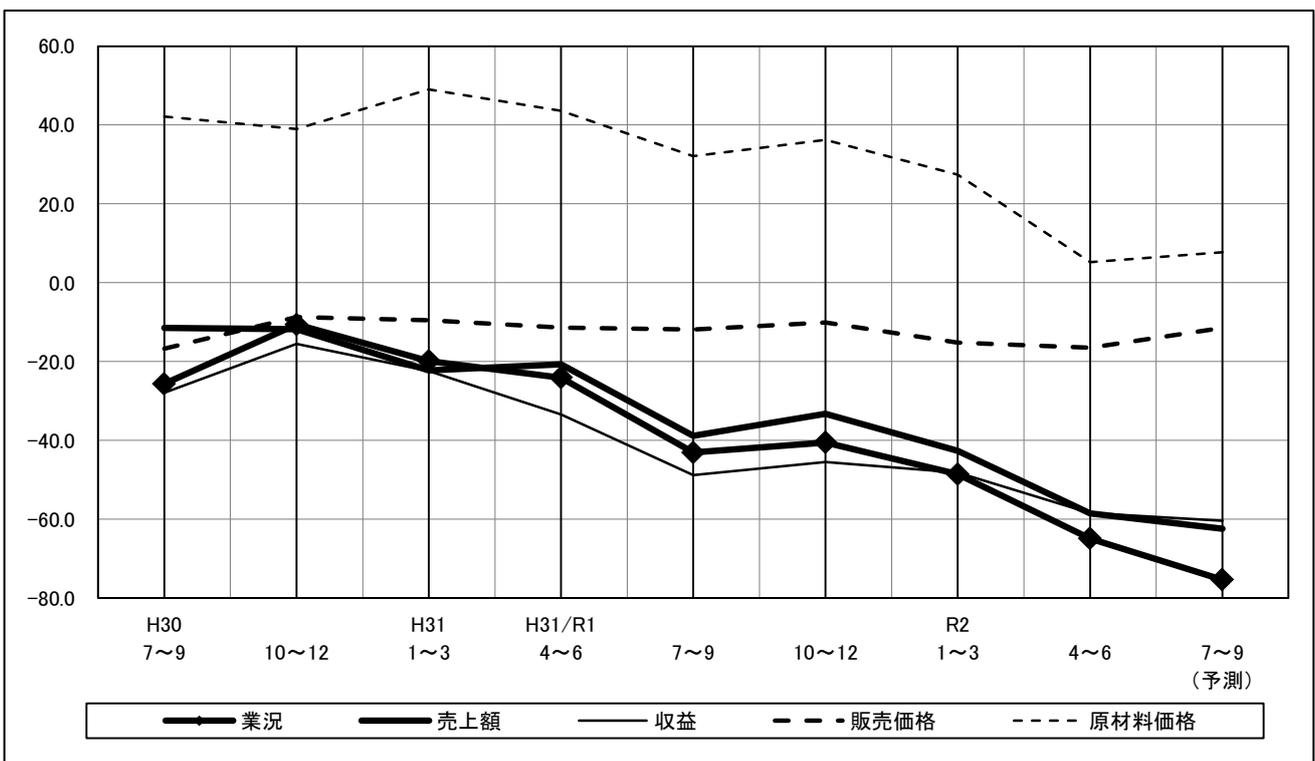
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



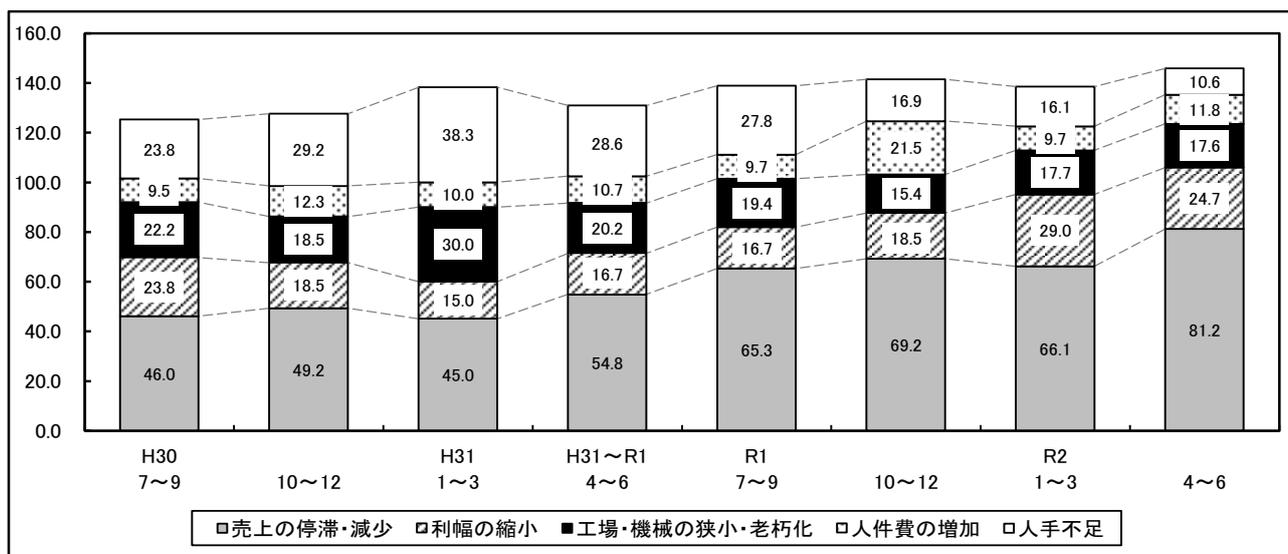
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

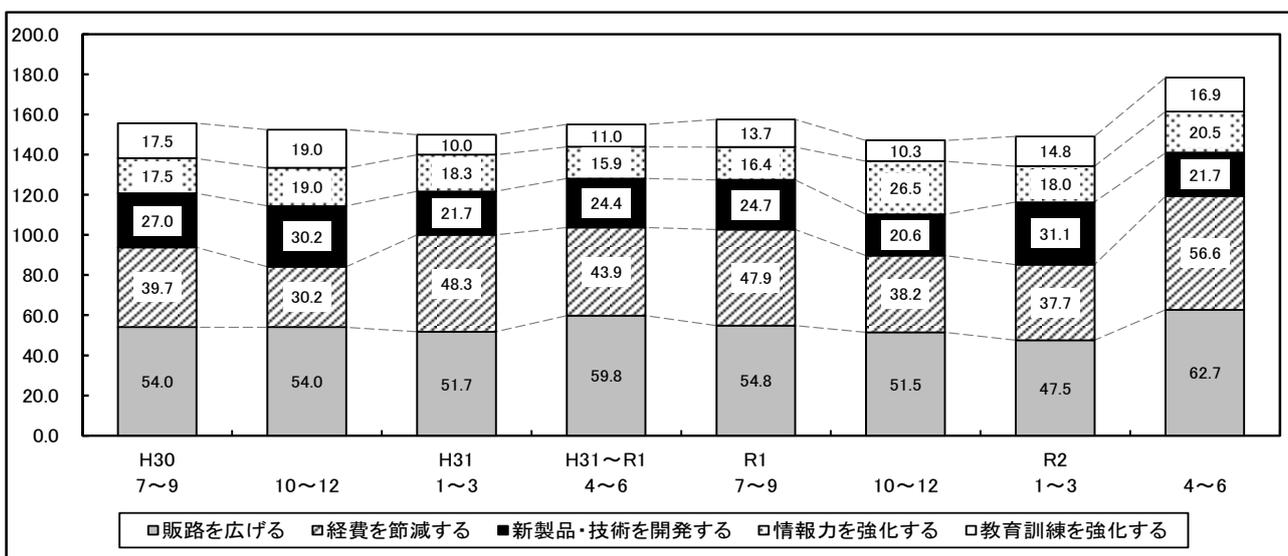


〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	売上上の停滞・減少	65.3 %	売上上の停滞・減少	69.2 %	売上上の停滞・減少	66.1 %	売上上の停滞・減少	81.2 %
第2位	人手不足	27.8 %	人件費の増加	21.5 %	利幅の縮小	29.0 %	利幅の縮小	24.7 %
第3位	工場・機械の狭小・老朽化	19.4 %	同業者間の競争の激化	18.5 %	原材料高	21.0 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.6 %
第4位	原材料高	18.1 %	利幅の縮小	18.5 %	人手不足	16.9 %	人件費の増加	11.8 %
第5位	利幅の縮小	16.7 %	原材料高	15.4 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.7 %	人手不足	10.6 %

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	販路を広げる	54.8 %	販路を広げる	51.5 %	販路を広げる	47.5 %	販路を広げる	62.7 %
第2位	経費を節減する	47.9 %	経費を節減する	38.2 %	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	56.6 %
第3位	人材を確保する	37.0 %	人材を確保する	33.8 %	新製品・技術を開発する	31.1 %	新製品・技術を開発する	21.7 %
第4位	新製品・技術を開発する	24.7 %	情報力を強化する	26.5 %	人材を確保する	21.3 %	情報力を強化する	20.5 %
第5位	情報力を強化する	16.4 %	新製品・技術を開発する	20.6 %	情報力を強化する	18.0 %	教育訓練を強化する	16.9 %

(1) 電気機械器具

業況(△37→△56)は低調感がかなり強まった。売上額(△39→△54)、収益(△43→△56)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(2→5)は上昇傾向がやや強まり、原材料価格(37→13)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△19→△29)は厳しさがかなり増した。来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△44→△55)は低調感がかなり強まった。売上額(△35→△50)、収益(△43→△55)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(△20→△24)は下降傾向がやや強まり、原材料価格(22→4)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△35→△44)は厳しさがかなり増した。来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△50→△90)は低調感が極端に強まった。売上額(△24→△100)、収益(△37→△100)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(△7→△20)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(20→0)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△23→△74)は厳しさが極端に増した。来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

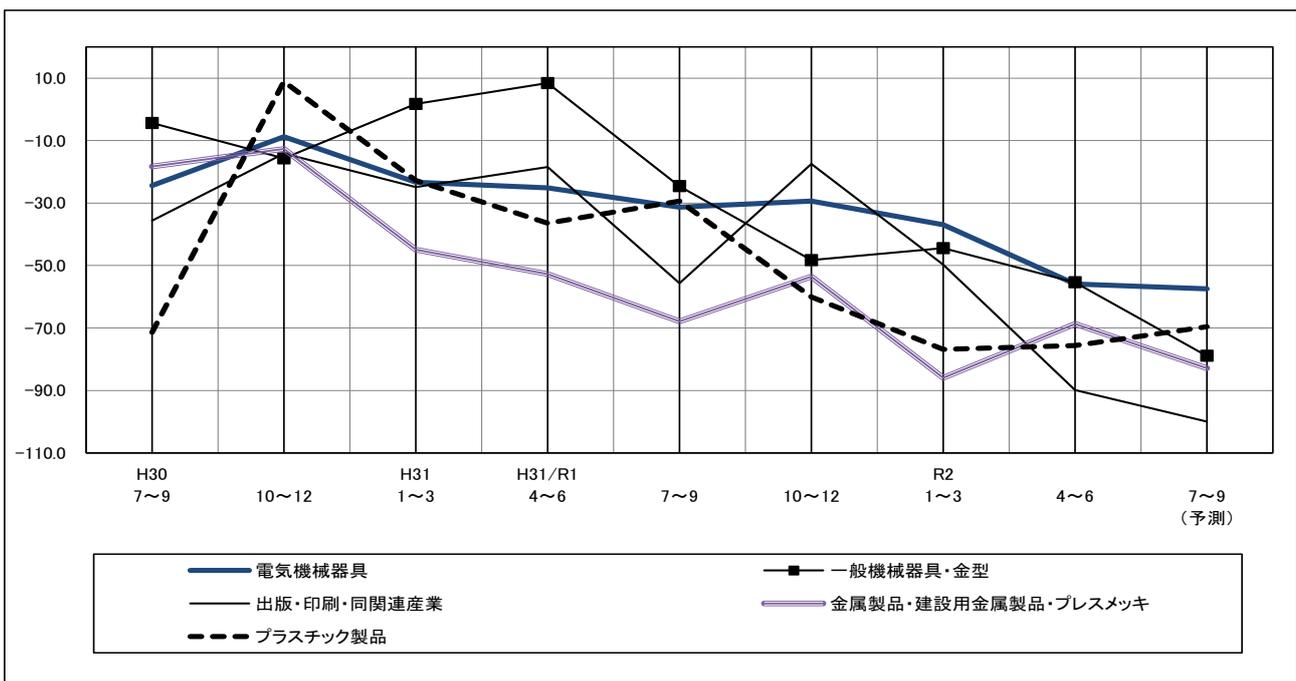
(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△86→△69)はかなり改善した。売上額(△87→△65)、収益(△87→△60)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△53→△34)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(18→4)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△65→△47)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△77→△76)はほぼ前期並となった。売上額(△74→△46)、収益(△74→△40)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△7→△18)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(56→3)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△17→△43)は厳しさが極端に増した。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

1. 新型コロナウイルス感染症の影響で売上は減少したが、今後は少しずつ回復基調にある。
2. 利益確保のため、効率化が必要。
3. 国の予算が減少しており、製造する製品のグレード規格を下げても対応している。
4. 例年春先から秋口まで注文が減少するが、今年はコロナ禍で減少幅が大きい。来期以降の売上減少幅も大きくなると思うが、予想がつかない。
5. やや人手不足ではあるが、世の中の動向を見て判断しなくてはならず難しい。
6. 受注が減っている。その割に材料費が上がってきている。これから先の営業を続けていけるかが心配。
7. コロナ禍により、モノが動いている気配を感じない。今後どの様なペースで通常に戻るのか想像がつかない。
8. 自動車産業の停滞により、売上額が減少している。
9. 現時点で新型コロナウイルス感染症の影響は小さいが、今後は受注の低下が予想される。

<一般機械器具・金型>

1. 大手企業が新型コロナウイルス感染症の関係で売上が悪化しており、その影響を受けている。
2. 客先（大手工場）の設備投資の控え感には日に日に増している。来年の景気は相当悪くなると思うが、新型コロナウイルスの影響として政府や自治体は考えてくれるのが心配。
3. 一部品目に受注が集中し、部品・材料の欠品が続き、生産が上がらない。
4. 今月の6月までは順調。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により納品が遅れ、営業出来ず7月以降が問題大。
5. 顧客側の海外生産拠点の状況の悪化により、受注が減少。
6. 客先が食品会社、食品加工会社、外食産業がほとんどなので、新型コロナウイルス感染症の影響で引き合い、売上がともに不調。
7. 受注は多少減ることが予想されるが、加工を行う地場産業の衰退が著しい。

8. 以前からあまり景気がよくない状況だったところへ、新型コロナウイルス感染症が発生したことにより、急激に売上が落ち込んだ。得意先では休業日がでている。
9. 3~5月の売上はゼロ。6月より少し動いて来た次第です。
10. 昨年末の消費税の増税とコロナ禍により、経済情勢に不利な状況が重なっている事が、顧客の需要減退、消費の停滞につながっている事は明白なのだから、一方的な減税措置も必要と思います。

<出版・印刷・同関連産業>

1. 新型コロナウイルス感染症の影響で取引先が休業したため、受注するはずだった仕事なくなった。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント・会議等の広告印刷物・会議資料等の印刷物が無くなり、例年の受注物件が激減する。
3. 印刷業は全体的に需要が減り、年々売上が横ばい及び減少になり、なかなか好転の兆しが見えません。
4. 新型コロナウイルス感染症の影響でオフセット印刷物がすべてキャンセルとなった。

<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

1. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
2. 新型コロナウイルス感染症の問題が、どう変化していくのか分からない。
3. 新型コロナウイルス感染による景況悪化。
4. 発注先が廃業したため、仕事が激減した。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響で受注が減少しており、1年以上続く見込み。対策が必要。

<プラスチック製品>

1. 輸出の減少。新型コロナウイルスの影響による。
2. 新型コロナウイルスの影響で売上が減少している。
3. 従来の仕事が減少。先行き不透明。
4. 新型コロナウイルスの感染拡大による保育園の閉園や春の運動会の中止、夏のプール中止等による保育用品の売上の減少、停滞。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△59→△84)は低調感が極端に強まった。売上額(△37→△80)、収益(△40→△78)はともに減少幅が極端に拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は18ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△13→△25)は下降傾向がかなり強まり、仕入価格(9→6)は上昇傾向がやや弱まった。在庫(25→34)は過剰感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△15→△29)は厳しさがかなり増し、借入難易度(△6→4)は好転した。今期借入れをした企業は40%で前期の35%から5ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

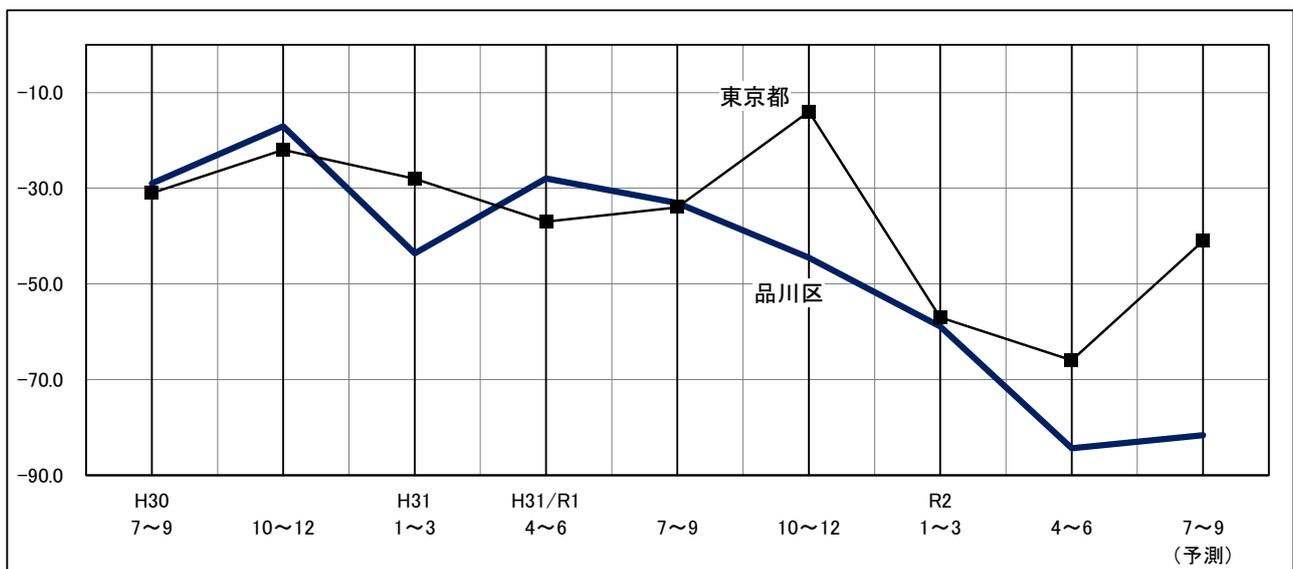
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が78%、2位は「利幅の縮小」が24%、3位は「同業者間の競争の激化」および「取引先の減少」がともに21%となった。前期4位だった「同業者間の競争の激化」が今期3位と順位を上げたが、その他の上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が55%、2位は「経費を節減する」が51%、3位は「情報力を強化する」が38%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

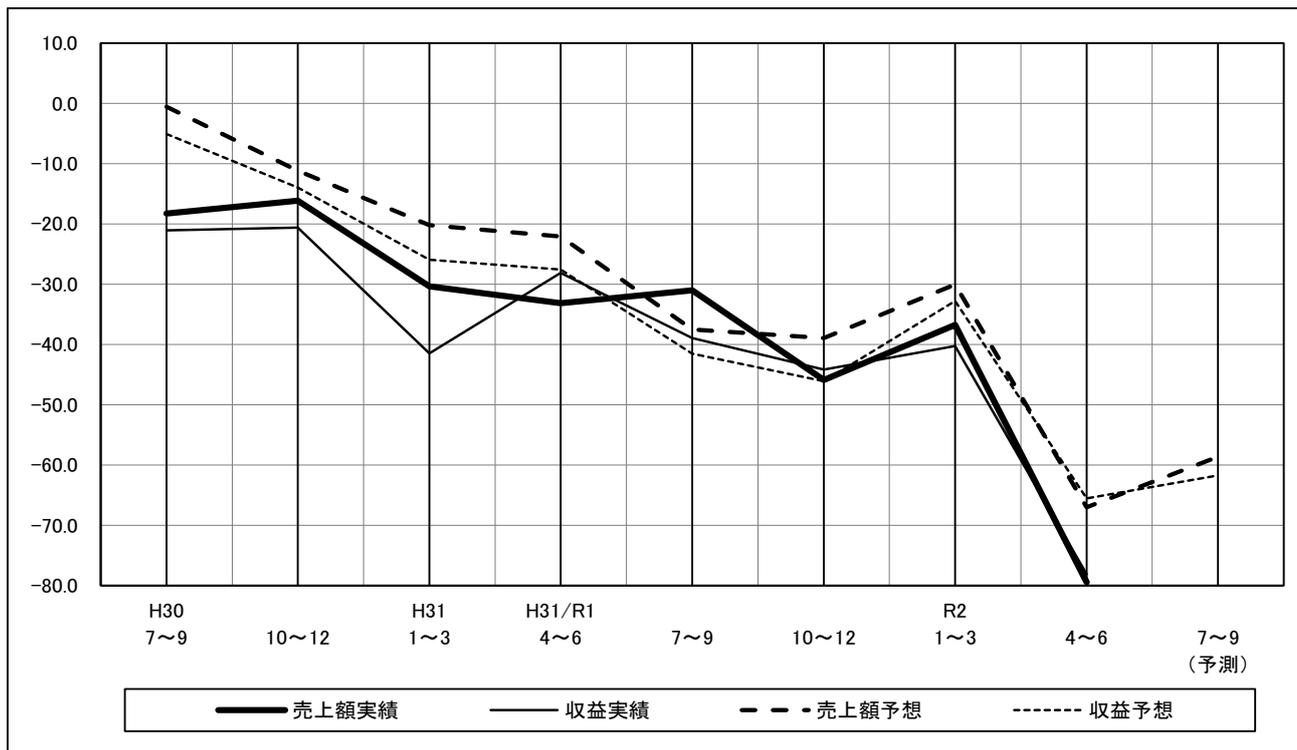
来期の見通し

業況(△84→△82)はやや改善する見込み。売上額は減少幅が極端に縮小し、収益も減少幅がかなり縮小すると予想されている。

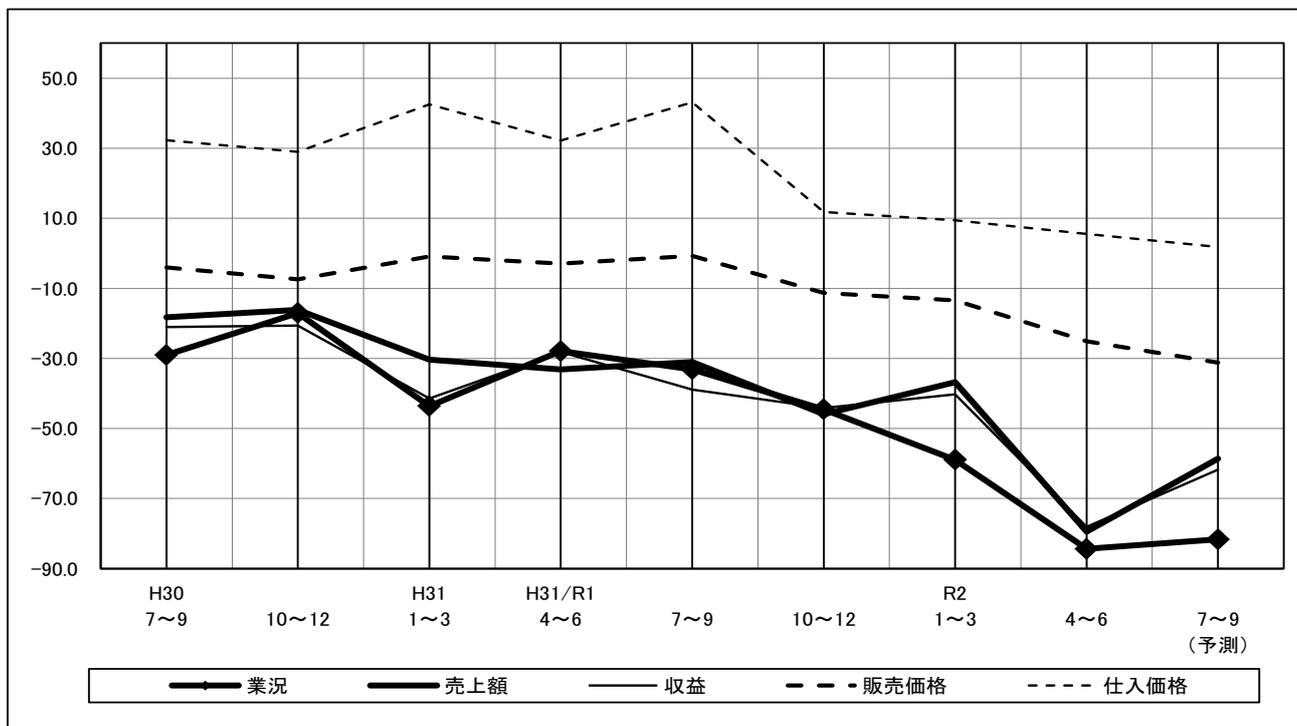
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



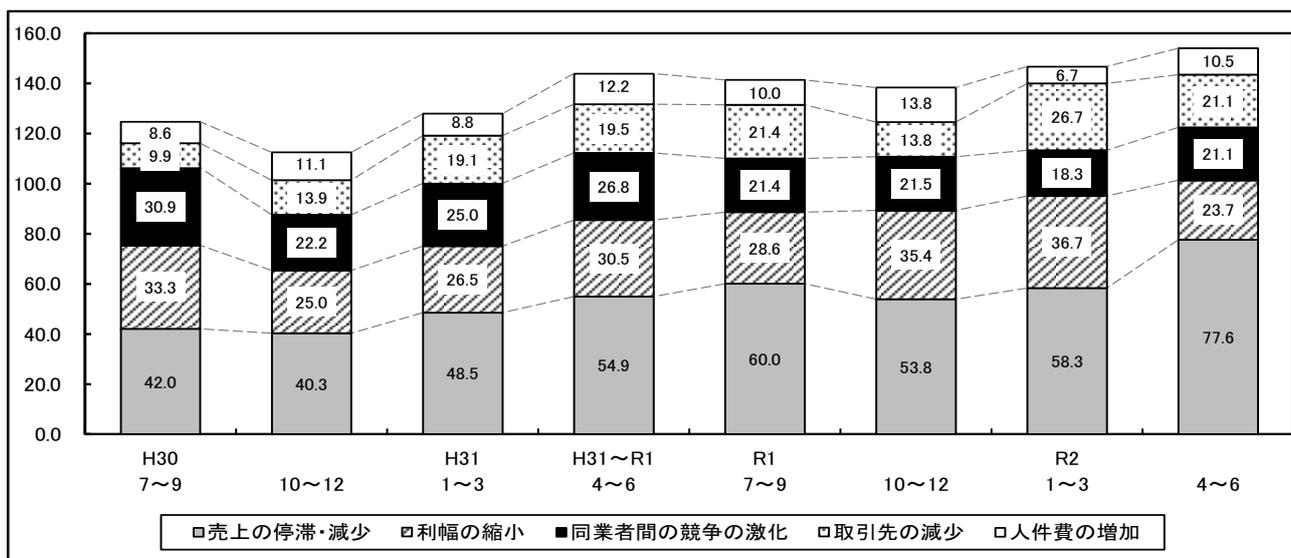
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

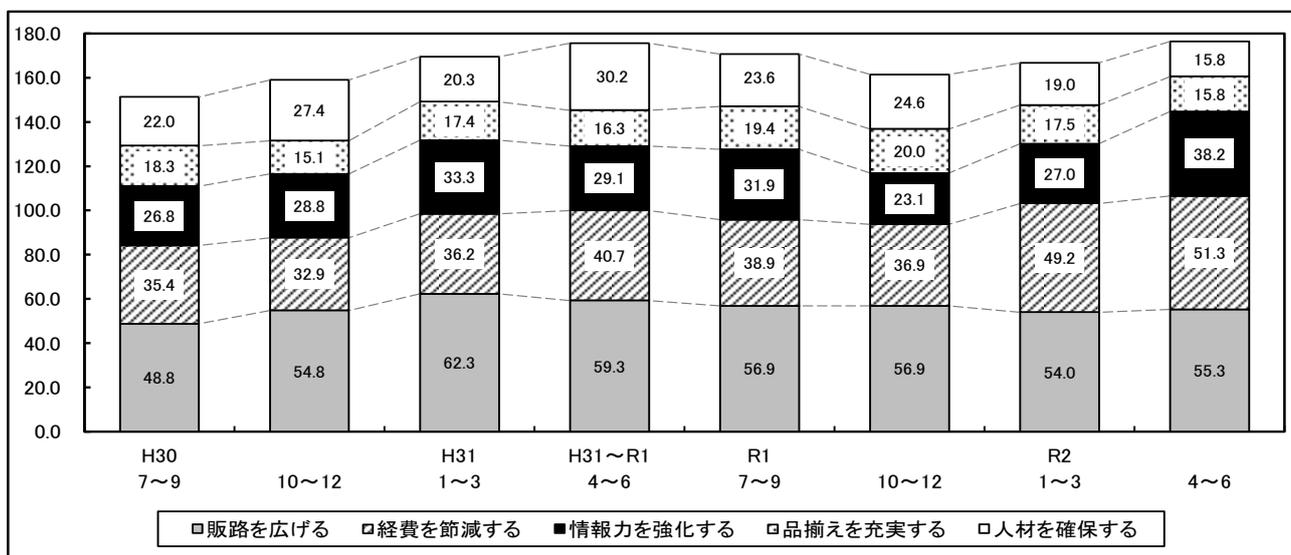


〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	売上上の停滞・減少	60.0 %	売上上の停滞・減少	53.8 %	売上上の停滞・減少	58.3 %	売上上の停滞・減少	77.6 %
第2位	利幅の縮小	28.6 %	利幅の縮小	35.4 %	利幅の縮小	36.7 %	利幅の縮小	23.7 %
第3位	人手不足	24.3 %	同業者間の競争の激化	21.5 %	取引先の減少	26.7 %	同業者間の競争の激化	21.1 %
第4位	同業者間の競争の激化	21.4 %	人手不足	15.4 %	同業者間の競争の激化	18.3 %	取引先の減少	21.1 %
第5位	為替レートの変動	12.9 %	人件費の増加	13.8 %	為替レートの変動	13.3 %	人件費の増加	10.5 %
			取引先の減少	13.8 %			流通経路の変化による競争の激化	9.2 %

〈卸売業〉 重点経営施策 (%)

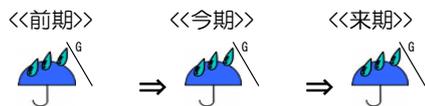


	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	販路を広げる	56.9 %	販路を広げる	56.9 %	販路を広げる	54.0 %	販路を広げる	55.3 %
第2位	経費を節減する	38.9 %	経費を節減する	36.9 %	経費を節減する	49.2 %	経費を節減する	51.3 %
第3位	情報力を強化する	31.9 %	人材を確保する	24.6 %	情報力を強化する	27.0 %	情報力を強化する	38.2 %
第4位	人材を確保する	23.6 %	情報力を強化する	23.1 %	人材を確保する	19.0 %	品揃えを充実する	15.8 %
第5位	品揃えを充実する	19.4 %	品揃えを充実する	20.0 %	品揃えを充実する	17.5 %	人材を確保する	15.8 %
							新しい事業を始める	10.5 %

卸売業 業種別コメント

1. 食品（スーパー向け）を扱っているのですが、例年並みを維持している。ただし、ワインはレストラン向けが不調。
2. 金属・機械の輸出業務につき、コロナ禍の不況は今のところ影響はない。
3. 売上減少は続く。赤字も続くと思われる。回復には1年以上かかる。
4. マーケットの縮小により、新しい事をやっても前年並みの売上高となる。
5. ビジネス転換を図らなければいけない。
6. 主要取引先からは受注をいただいている。
7. 得意先の閉店（廃業）、休業等により売上の減少が考えられる。
8. 良くも悪くも流通経路の変化で売上・利益が左右される。業務用は不振だが、消費者向けは好調。
9. 新型コロナウイルス感染症の影響で廃業した店が何軒もあり、お店にお客様が思うように戻ってこないと話を聞いている。今のところ、打つ手なし。輸入品を扱っている分価格が上がってきている。
10. 外食需要減による相場低迷。先物の需要減による売上減が予想される。
11. 新型コロナウイルスの影響で観光が激減する中、お土産需要も落ちて売上減につながっている。売上増が最大の課題。
12. 業務用食材を扱っているため、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、売上は半減し事業継続は困難を極めている。収束しても暫くは低迷が続くと見ている。
13. 6月以降は売上・利益とも減少に転じる。受注残の減、新規受注の停滞。
14. 台湾向けが順調。
15. 新型コロナウイルス流行のため、ユーザーが営業活動を控えており、需要が減少している。
16. 扱う製品（時価の原料や資材）が飲食店や輸出の状況に密接に関係しているため、大幅な注文減少により売上の減少が発注している。
17. 新型コロナウイルス感染症により創業以来の売上の急激な減少となっている。収束が見通せないので厳しい状況が続くと思われる。
18. 販売先の新規開拓を重点に置く営業を展開。
19. 新型コロナウイルス感染症の第2波への対応を強化中。
20. 建設工事の一時停止や延期のため、当社が提供している掘削機械、器具の売上が減少している。
21. 主に新型コロナウイルス感染症の影響で、中国での製造がストップしており売上減少。
22. 中国にての販売先の不振が続いている。今後秋頃迄の改善は見込めない。
23. 海外発送の制限による売上確保の遅滞。
24. 輸入在庫が増え、販売ルートの確保を進める。
25. この先、2〜3年は相当な厳しさを想定している。
26. 新型コロナウイルスの影響でまともな営業が出来ない状況が続いている。急を要する品物以外は注文が来ない。全く先が見えない。
27. やっとお客様の休業が解け再開したものの、新型コロナウイルスによる景気の減少が続くと業況は低調してしまう。
28. 新型コロナウイルス感染症の影響下だが、主な販売先がコンビニ関係のため、逆に売上が伸びている。
29. 昨年の消費税増税で売上が落ちている所に新型コロナウイルスでとても大変です。消費税減税など刺激策が必要です（期間限定でも可）。
30. 海外製品の増加により、売上は減少傾向である。
31. 新型コロナウイルス感染症の影響で売上が大幅減少しています。今後どこまでコロナ禍以前の状態に戻るか、戻れるか不安はあります。現在は新しい業務形態を模索中です。
32. 東日本大震災、リーマンショック以上の悪化。
33. 主要取引先からの受注が減ってきている。
34. 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が若干減少・利幅の減少。今後は大きく影響すると見込まれる。
35. 新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の設備投資が停滞しており、減収となっている。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△85→△84)はほぼ前期並となった。売上額(△75→△78)は減少幅がやや拡大し、収益(△86→△80)も減少幅がかなり縮小した。
 なお、全都と比較した当区の業況は23ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△19→△17)は下降傾向がやや弱まり、仕入価格(8→4)は上昇傾向がやや弱まった。在庫(10→17)は過剰感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△64→△47)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(△19→15)は大きく好転した。今期借入れをした企業は58%で前期の26%から32ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

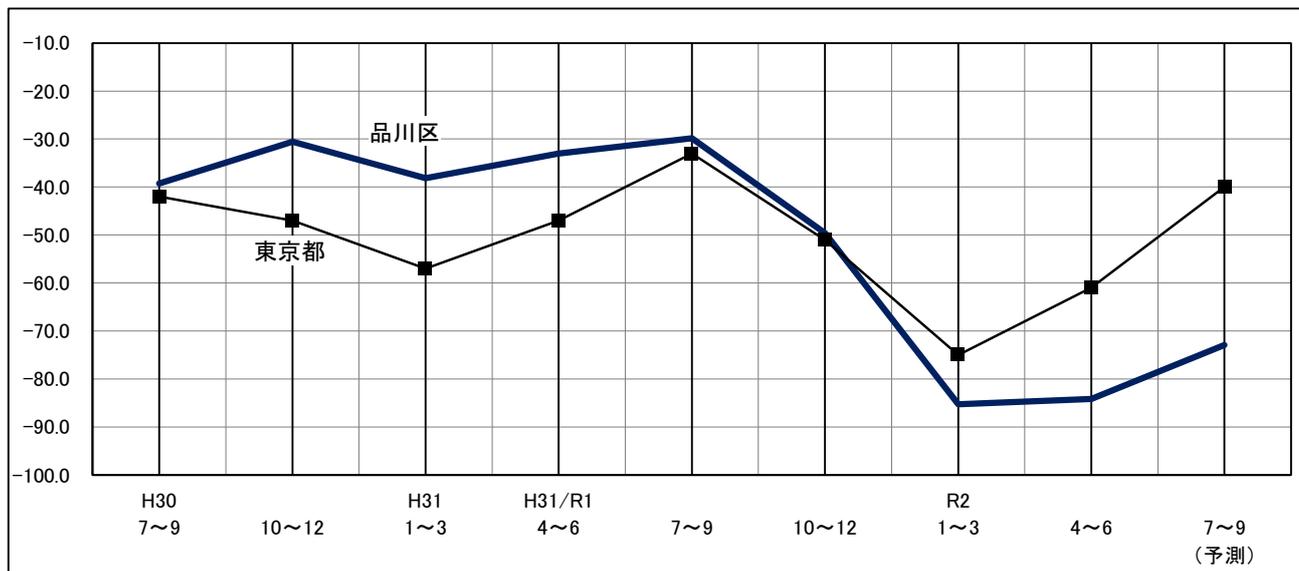
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が86%、2位は「利幅の縮小」が22%、3位は「その他」が18%となった。前期圏外だった「利幅の縮小」が、今期2位と順位を上げ、3位の「その他」については、「新型コロナウイルス感染症の影響」という回答が大半を占めた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が55%、2位は「品揃えを改善する」が26%、3位は「宣伝・広報を強化する」が24%となった。前期2位だった「人材を確保する」は今期圏外となり、前期4位だった「品揃えを改善する」が、今期2位となり順位を上げた。

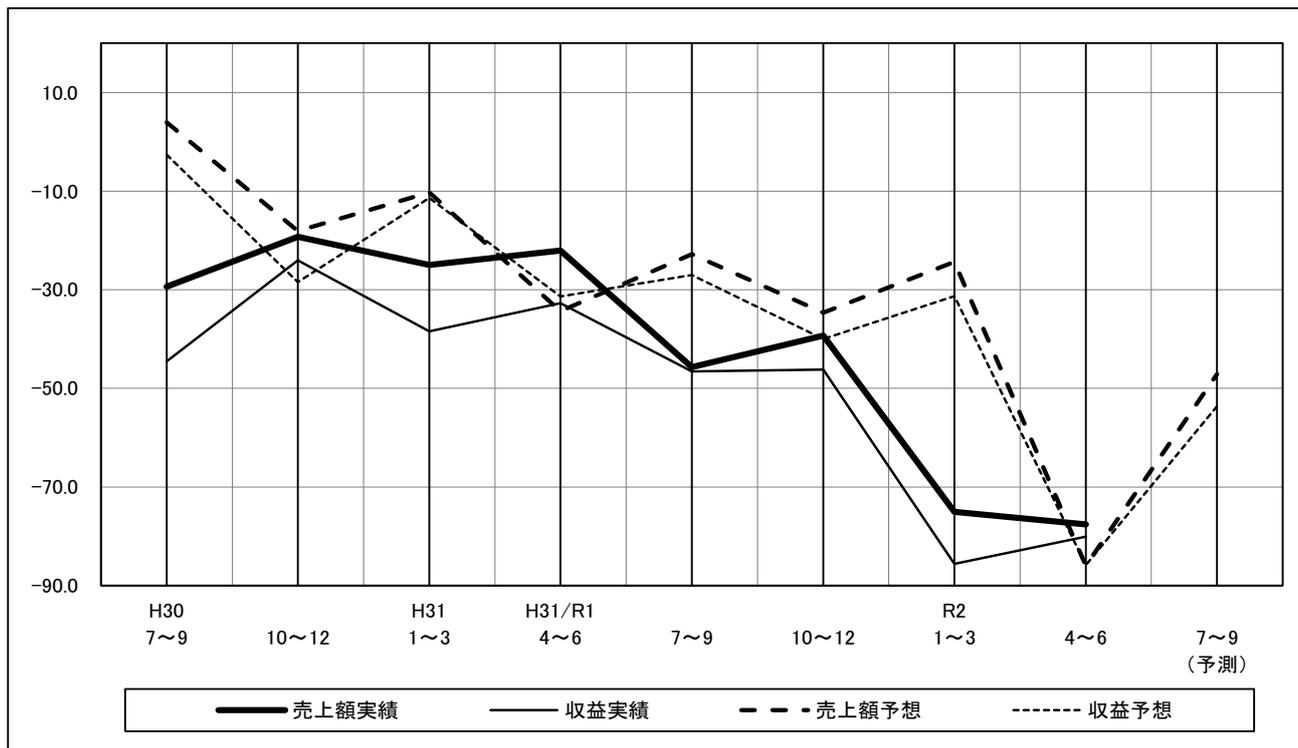
来期の見通し

業況(△84→△73)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小すると予想されている。

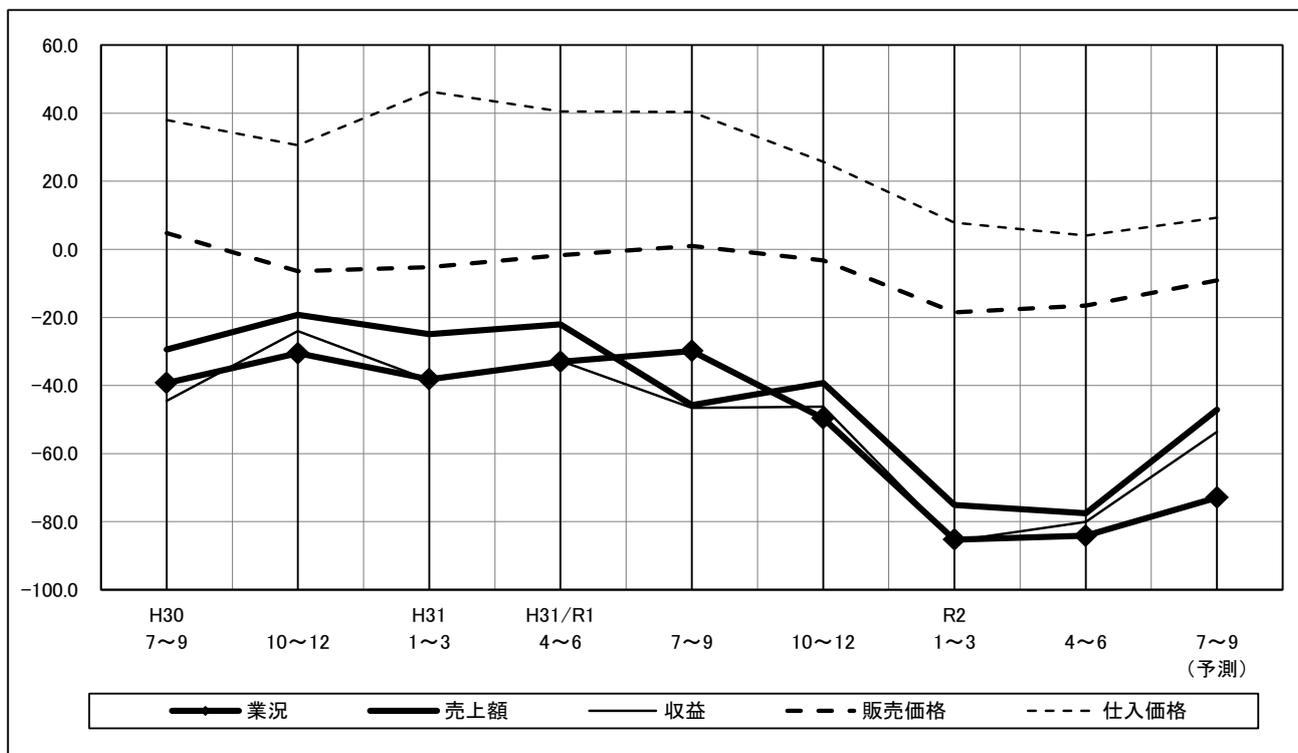
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



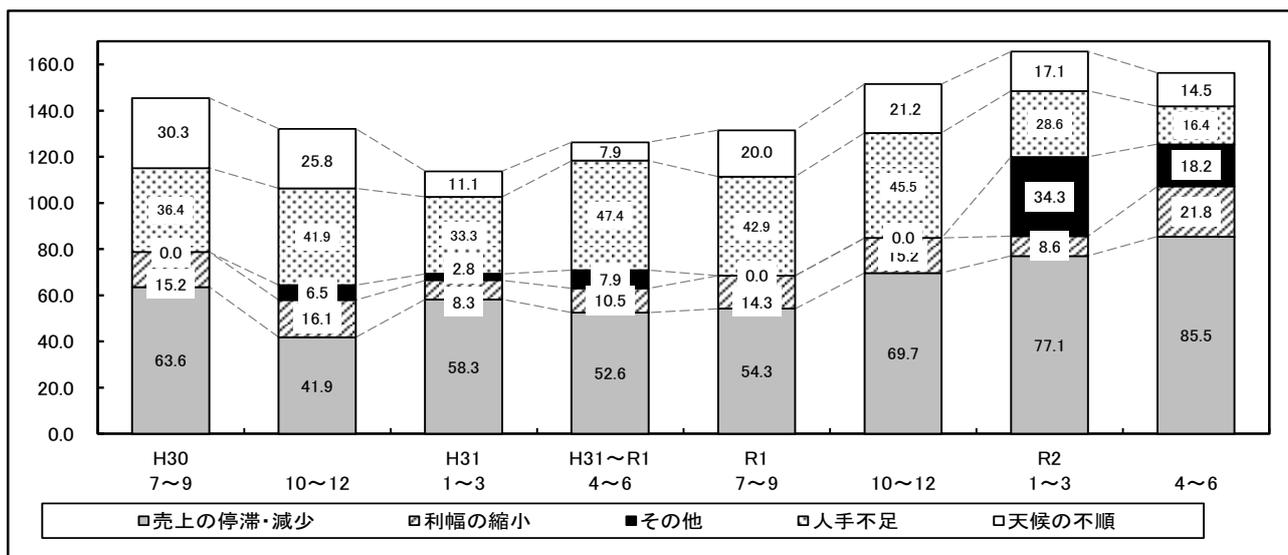
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

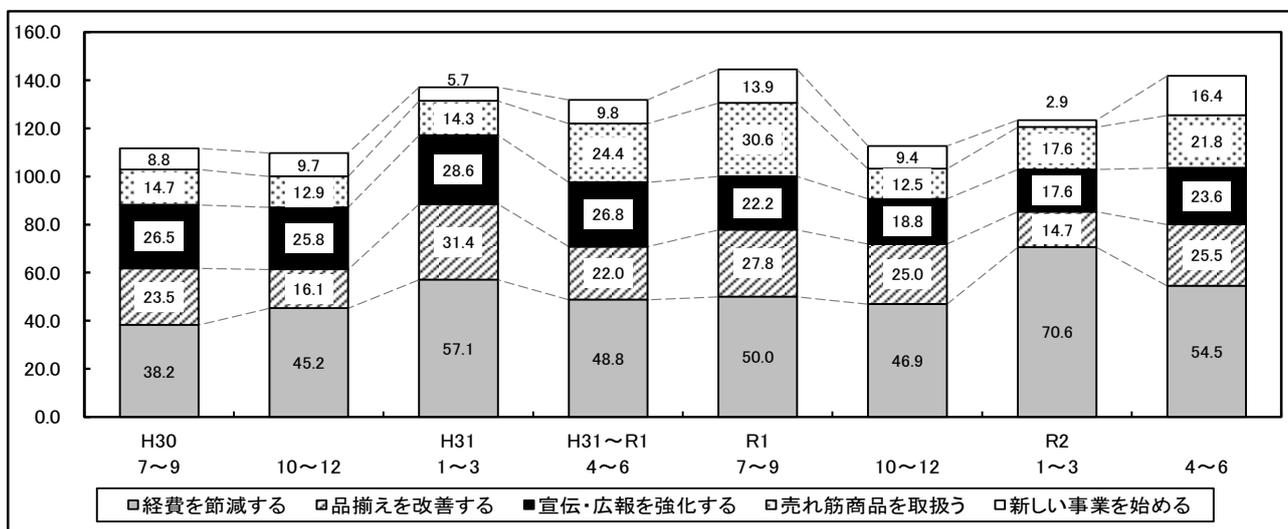


〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	売上停滞・減少	54.3 %	売上停滞・減少	69.7 %	売上停滞・減少	77.1 %	売上停滞・減少	85.5 %
第2位	人手不足	42.9 %	人手不足	45.5 %	その他	34.3 %	利幅の縮小	21.8 %
第3位	人件費の増加	22.9 %	人件費の増加	27.3 %	人手不足	28.6 %	その他	18.2 %
第4位	同業者間の競争の激化	20.0 %	天候の不順	21.2 %	人件費の増加	22.9 %	人手不足	16.4 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	17.1 %	同業者間の競争の激化	18.2 %	天候の不順	17.1 %	天候の不順	14.5 %

〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	46.9 %	経費を節減する	70.6 %	経費を節減する	54.5 %
第2位	人材を確保する	36.1 %	人材を確保する	34.4 %	人材を確保する	20.6 %	品揃えを改善する	25.5 %
第3位	売れ筋商品を取扱う	30.6 %	品揃えを改善する	25.0 %	宣伝・広報を強化する	17.6 %	宣伝・広報を強化する	23.6 %
第4位	品揃えを改善する	27.8 %	仕入先を開拓・選別する 教育訓練を強化する	21.9 % 21.9 %	売れ筋商品を取扱う	17.6 %	品揃えを改善する	14.7 %
第5位	宣伝・広報を強化する	22.2 %	宣伝・広報を強化する	18.8 %	店舗・設備を改装する 仕入先を開拓・選別する 特になし	11.8 % 11.8 % 11.8 %	新しい事業を始める	16.4 %

(1) 飲食料品

業況(△49→△43)はかなり改善した。売上額(△58→△29)、収益(△78→△33)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△31→△3)は下降傾向が極端に弱まり、仕入価格(△25→15)は上昇に転じた。資金繰り(△26→0)は容易となった。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△100→△100)、売上額(△100→△100)、収益(△100→△100)はともに前期並となった。販売価格(△13→△29)は下降傾向がかなり強まり、仕入価格(43→3)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△72→△73)はほぼ前期並となった。

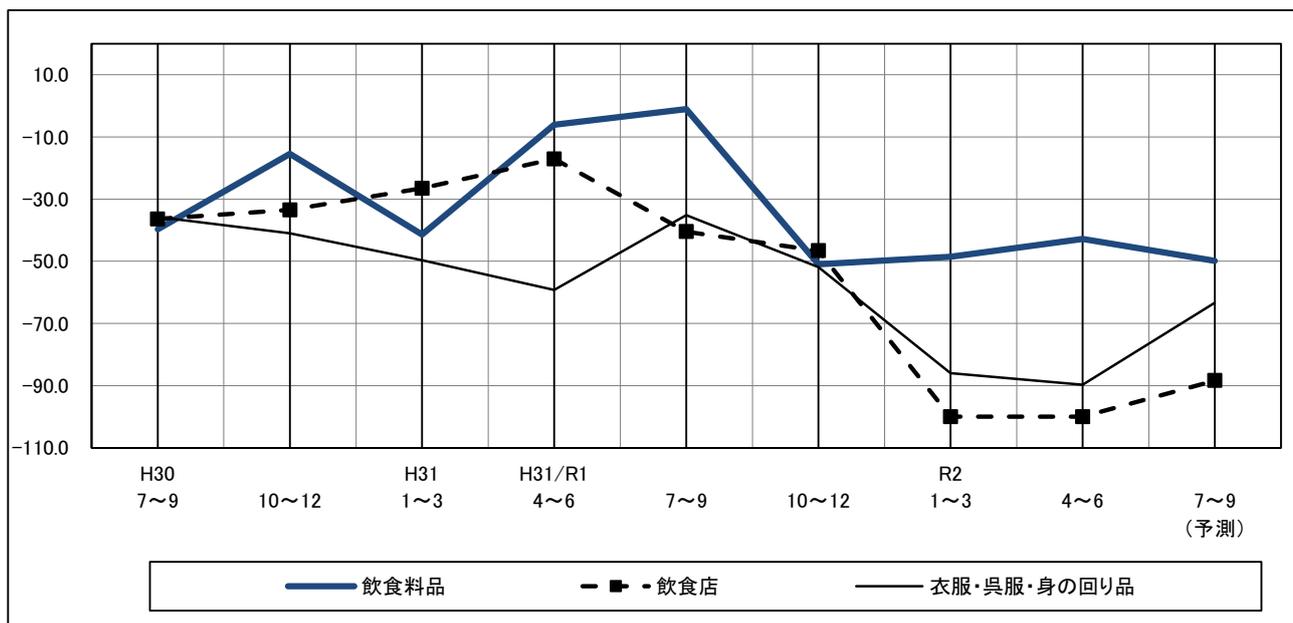
来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△86→△90)は低調感がやや強まった。売上額(△61→△76)、収益(△75→△83)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(△20→△8)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(△20→0)は上昇に転じた。資金繰り(△72→△44)は厳しさが極端に和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

<飲食品>

1. コロナ禍の環境変化による売上減少。
2. 百貨店・イベント会場での販売がほぼ無くなり、量販店からの脱却を考える時が来た。
3. 新型コロナウイルス対策に追われた 2~5 月だった。いつ、従業員から新型コロナウイルスの感染者がでるか常に心配していたが、とりあえず感染がなく安心したところ。また、各種給付金の申請方法について勉強するよい機会となった。
4. テレワークの浸透により来客が減っている。
5. 消費者に買い控えの意識がある。我々にしか出来ない仕事を追求していくことで打開していく。

<飲食店>

1. 新型コロナウイルス感染症の影響で、街に人がいない。リモートワークや在宅勤務により出社しない人が増加している。感染予防の為、大人数での来店がない。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響で売上が落ち込み困っている。今はまだ給付金等があるので大丈夫だが、長く続くと苦しくなると予想している。
3. お客様の減少により売上が上がらず、固定費などの支払いが苦しい。
4. 新型コロナウイルス感染症の影響で4月は売上が大幅に減少。しかし、テイクアウト+店内飲食の併用という新たな形態を整えた結果、以前とは違う売上が確保できそう。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響でまだ客足が戻ってきていないため、厳しい経営状況が続いている。
6. 3月末より5月末まで休業したため、売上・収益が大幅に減少した。5月26日から営業再開はしたものの、集客の大幅増加は見込めず、飲食業として一番の繁忙期の3・4月に受けた影響を取り戻すのは容易ではない。
7. 新型コロナウイルス感染拡大防止による営業自粛が、大きなマイナス要素となった。

8. 来店者が減少し、減収減益が続いている。
9. 新型コロナウイルス感染症の影響で来店者が減り、減収減益。
10. 新型コロナウイルス感染症による影響が最も重大。休業を余儀なくされ 4/10~5/6 臨時休業。5/7~6/11 で再開したが、時短営業ということもあり 3 割程度しか戻っていない。協力金・給付金もやっと届いたが、家賃等の固定費の支払いで終わった。

<衣服・呉服・身の回り品>

1. 新型コロナウイルス感染症により各行事（卒業式、謝恩会、入学式、結婚式、お茶会等々）が中止になり、呉服を着る機会が無くなり、お手入れのニーズも無く、困りました。
2. キャッシュレス消費者還元事業が6月で終了した。その反動が心配。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響で人出が減少しており、買い物客が著しく減少している。東京都の要請で葬儀の通夜が減少しているため貸ふとんが全く出なくなっている。
4. 6月に入り少しずつ百貨店催事が増加してきた。直営店舗の売上は回復していない。
5. 商店街に人の行き来はあるが、買い物はあまりしていない。余計な品物は買わないのであろう。新型コロナウイルス感染症の影響で消費者も仕事や残業が減り、給料にも影響が出ているでしょう。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急事態宣言による、店舗の営業時間短縮やイベント（セール等）の中止で、売上が半減している。
7. 年輩者が外出しないので新しい服の需要がない。
8. 緊急事態宣言により商店街がゴースト化し、全く商売が成り立たなかった。解除後もその余波で客足が戻らず売上が通常以下で大変厳しい状況である。
9. 4/8~5/31 までの営業自粛が大きく響いている。営業時間を短縮したことも大きい。
10. 新型コロナウイルス感染症以外の影響なし。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△64→△67)は低調感がやや強まった。売上額(△61→△64)は減少幅がやや拡大し、収益(△53→△64)も減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は11ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格(△16→△21)は下降傾向がやや強まり、材料価格(21→11)は上昇傾向がかなり弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△34→△47)は厳しさがかなり増し、借入難易度(△9→1)は好転した。今期借入れをした企業は41%で前期の26%から15ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

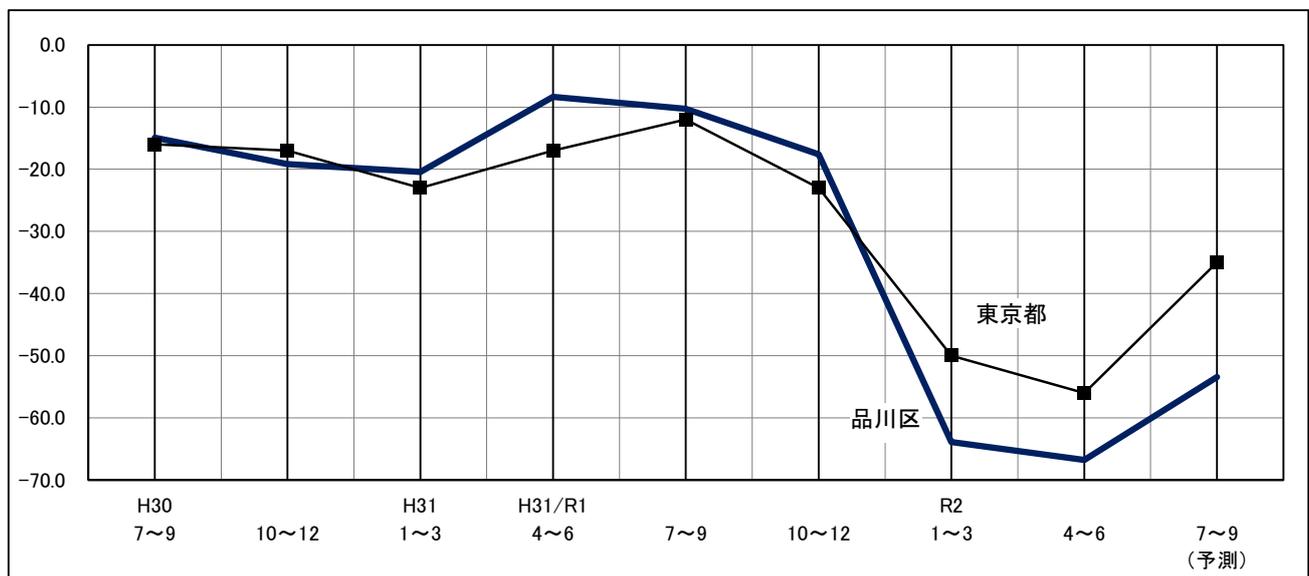
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が66%、2位は「人手不足」が23%、3位は「利幅の縮小」および「人件費の増加」が、ともに20%となった。前期4位だった「利幅の縮小」が、今期3位と順位を上げ、その他の上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が49%、2位は「販路を広げる」が37%、3位は「人材を確保する」が36%であった。前期1位だった「人材を確保する」が、今期3位と順位を下げ、前期2位だった「経費を節減する」が今期1位、前期3位だった「販路を広げる」が、今期2位と順位を上げた。

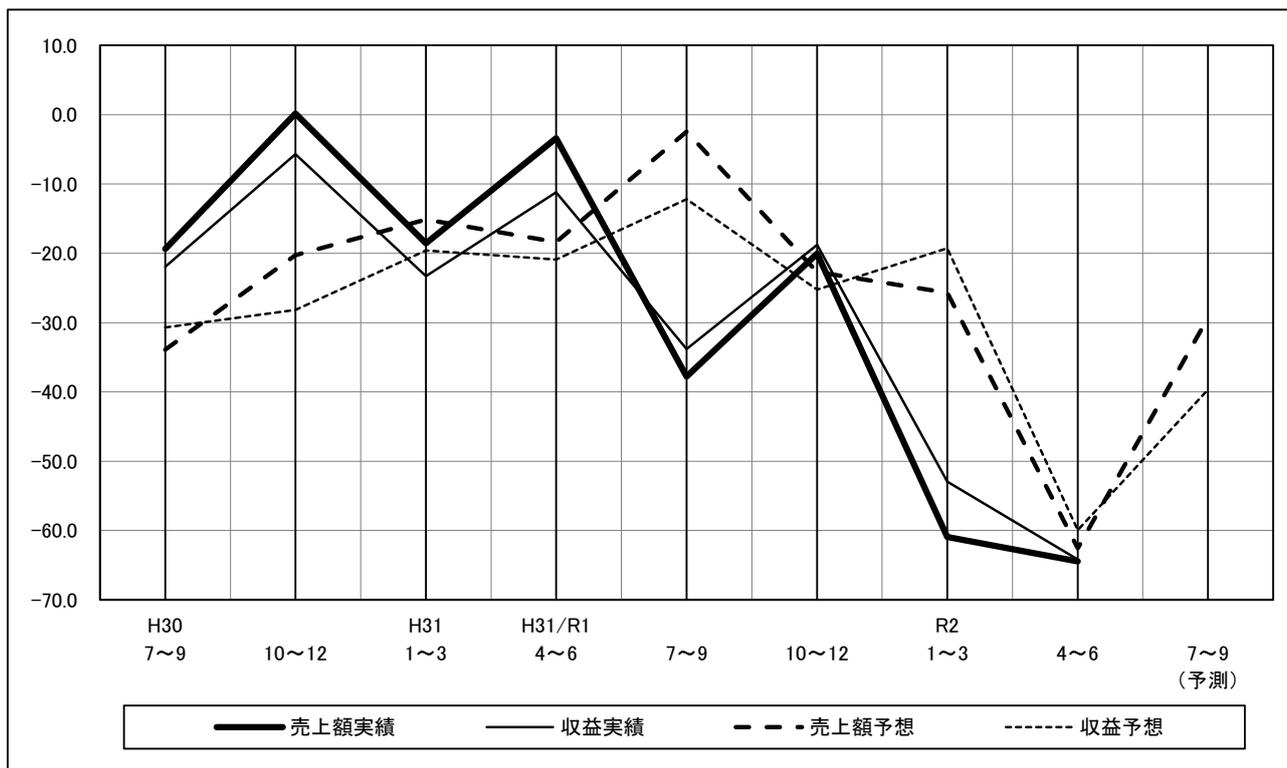
来期の見通し

業況(△67→△53)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小すると予想されている。

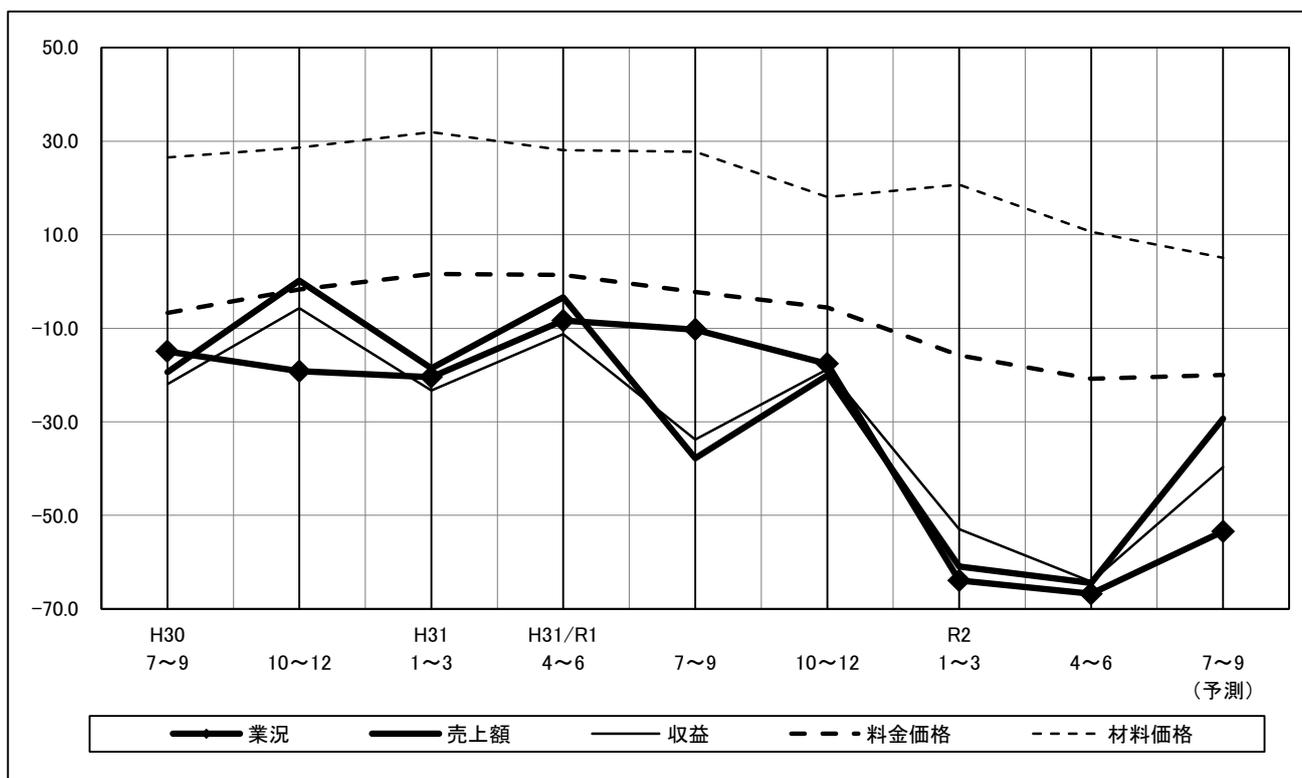
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



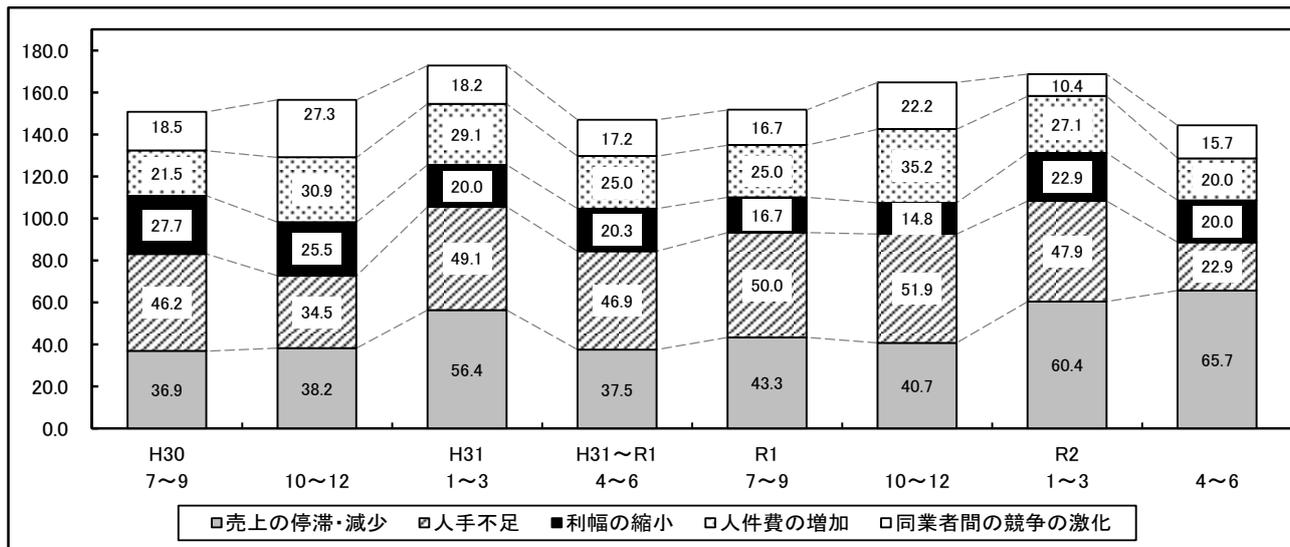
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

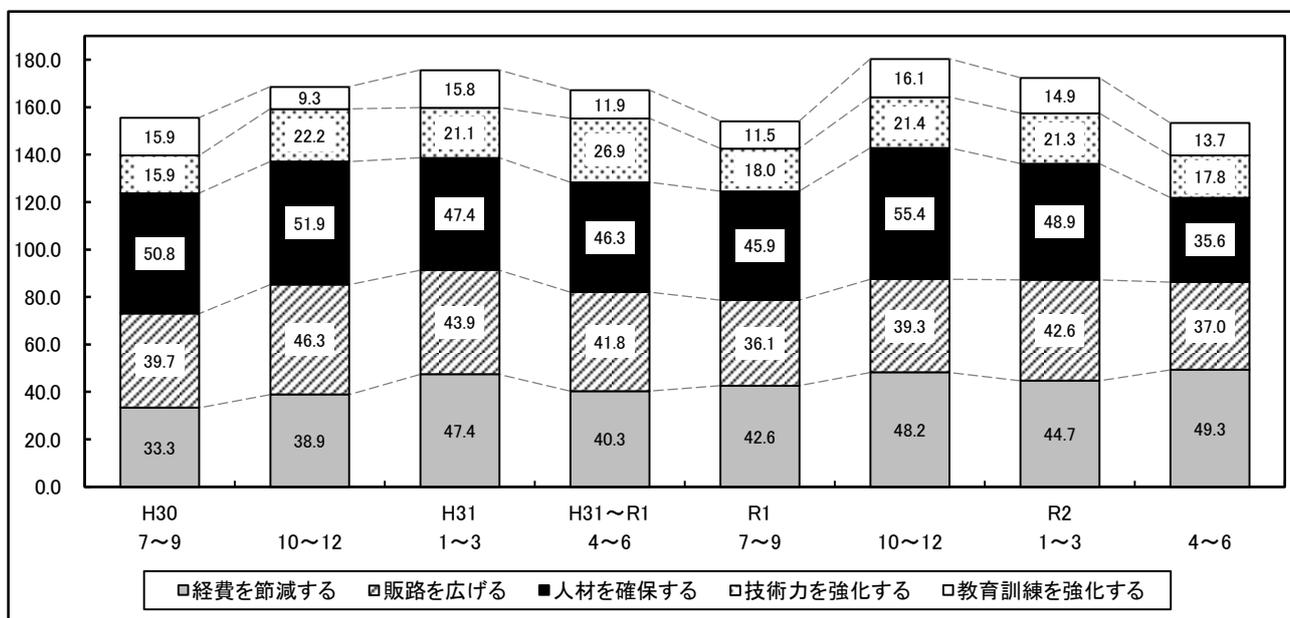


〈サービス業〉 経営上の問題点 (%)



	R1. 7~9月期		R1. 10~12月期		R2. 1~3月期		R2. 4~6月期	
第1位	人手不足	50.0 %	人手不足	51.9 %	売上の停滞・減少	60.4 %	売上の停滞・減少	65.7 %
第2位	売上の停滞・減少	43.3 %	売上の停滞・減少	40.7 %	人手不足	47.9 %	人手不足	22.9 %
第3位	人件費の増加	25.0 %	人件費の増加	35.2 %	人件費の増加	27.1 %	利幅の縮小	20.0 %
第4位	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	16.7 % 16.7 %	同業者間の競争の激化	22.2 %	利幅の縮小	22.9 %	人件費の増加	20.0 %
第5位	材料価格の上昇 人件費以外の経費の増加	15.0 % 15.0 %	利幅の縮小	14.8 %	人件費以外の経費の増加	10.4 %	その他	11.4 %
					技術力の不足	10.4 %		
					取引先の減少	10.4 %		
					同業者間の競争の激化	10.4 %		

〈サービス業〉 重点経営施策 (%)



	R1. 7~9月期		R1. 10~12月期		R2. 1~3月期		R2. 4~6月期	
第1位	人材を確保する	45.9 %	人材を確保する	55.4 %	人材を確保する	48.9 %	経費を節減する	49.3 %
第2位	経費を節減する	42.6 %	経費を節減する	48.2 %	経費を節減する	44.7 %	販路を広げる	37.0 %
第3位	販路を広げる	36.1 %	販路を広げる	39.3 %	販路を広げる	42.6 %	人材を確保する	35.6 %
第4位	技術力を強化する	18.0 %	技術力を強化する	21.4 %	技術力を強化する	21.3 %	技術力を強化する	17.8 %
第5位	労働条件を改善する	14.8 %	教育訓練を強化する	16.1 %	宣伝・広告を強化する	14.9 %	教育訓練を強化する	13.7 %
					新しい事業を始める	14.9 %		
					教育訓練を強化する	14.9 %		

サービス業 業種別コメント

1. 新卒者の教育・育成に時間とお金がかかり人材の定着が難しい。技術者を高い賃金で雇用する方向に転換し、労働条件を子育てしている方向けのものとした。
2. 新型コロナウイルス感染症の収束を待つしかない。
3. 海外への渡航情勢が緩和されない限り厳しい状況が続く。
4. 創立以来最悪の状況。4月以降売上ゼロ。いつまで持続できるのか。事務所賃貸料軽減のため、自宅にて勤務している。
5. 新型コロナウイルス感染症による利用控えが続いている。元々人材不足が多い職種であったが、有給休暇が増え、人員不足とコスト増も重なり利益が減少している。高齢化により、職員が退職していく。
6. 新型コロナウイルスの影響で全て最悪。
7. 材料費等の値上がり。
8. 新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。踏ん張り時であり、前向きに取り組むのみ。
9. 解除によって客足が戻って来た。売上は増加に転じた。
10. 除菌等の人件費以外の経費の増加と休業が原因で経営を圧迫している。
11. 新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい。
12. 新型コロナウイルス感染症による自粛での業績低下。
13. 4月8日～6月11日まで休業したため業績が悪化した。
14. 同業者との競合の激化。
15. 新型コロナウイルス感染症の影響で受注が減った。
16. 企業の業績悪化（新型コロナウイルス感染症が原因）により売上減少。
17. 新型コロナウイルス感染症の影響で一部取引先が営業縮小しており、それに伴い派遣労働者の需要が減っている。
18. 働き方改革により、残業の制限が出ており、社員にとってはよいと思う。しかし残業代をあてにしている人もいるので、手放して良いとは言い切れないところもある。人材を集めたいが、厳しさを感じている。
19. この状況がいつまで続くのか不安。対応を検討中。
20. 人材が集まらない。
21. 新型コロナウイルス感染症の影響が大きすぎる。取引先が打撃を受け、連鎖で自社も影響を受けている。
22. 新規の顧客が開発できず、足踏み状態である。
23. 経費削減に努めているが、材料費や仕入れ費用が値上がりしている。
24. 人件費の増加。
25. コロナ禍で各種イベントが中止となり、売上が大幅に減少している。イベントが普通に開催できるようになるまで厳しい状況が続くと考えられる。
26. 親会社からの受託費が削減傾向にある。
27. 新型コロナウイルス感染症の影響により売上大幅ダウン。経営維持に力を傾ける。
28. 同業他社（自社より大きな会社）との競合が経営を圧迫している。単価がどんどん低くなっている。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△32→△65)は低調感が極端に強まった。売上額(△37→△57)、施工高(△28→△63)、収益(△37→△59)はともに減少幅が極端に拡大した。

価格・在庫動向

請負価格(△28→△41)は下降傾向がかなり強まり、材料価格(39→23)は上昇傾向がかなり弱まった。在庫(△3→3)は過剰に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△26→△35)は厳しさがかなり増し、借入難易度(△13→2)は好転した。今期借入れをした企業は34%で前期の31%から3ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

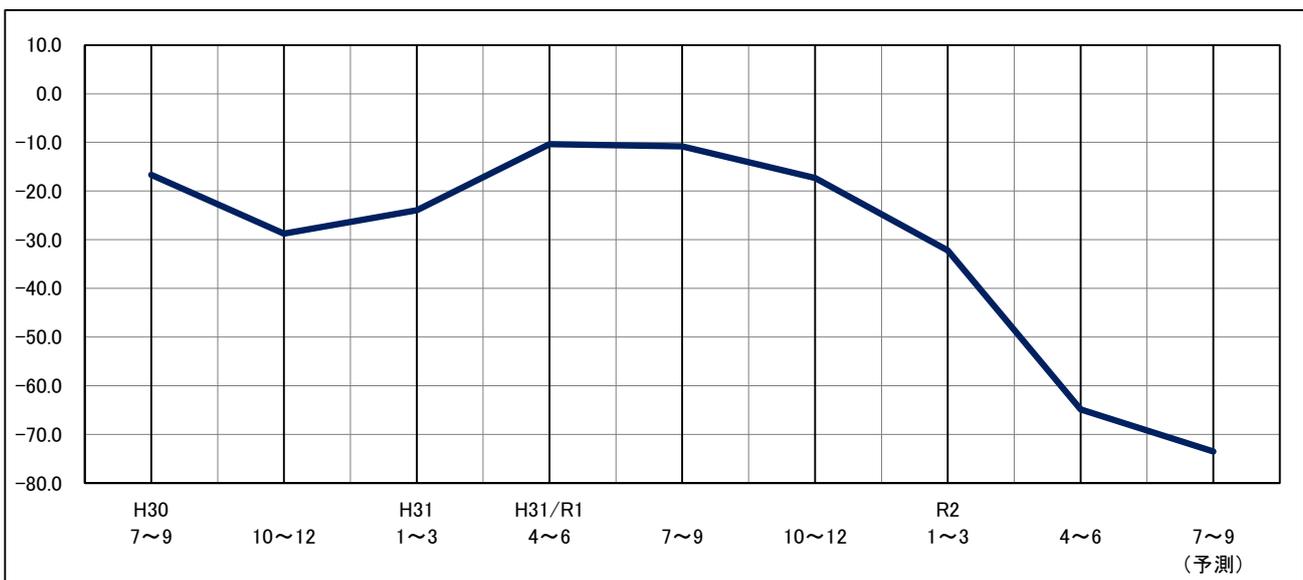
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が67%、2位は「利幅の縮小」が33%、3位は「人手不足」が32%となった。前期2位だった「人手不足」が今期3位、前期3位だった「下請の確保難」が今期4位と順位を下げ、前期4位だった「利幅の縮小」は、今期2位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が39%、2位は「経費を節減する」が38%、3位は「技術力を高める」が36%となった。前期3位だった「販路を広げる」が今期4位と順位を下げ、前期4位だった「技術力を高める」は、今期3位と順位を上げた。

来期の見通し

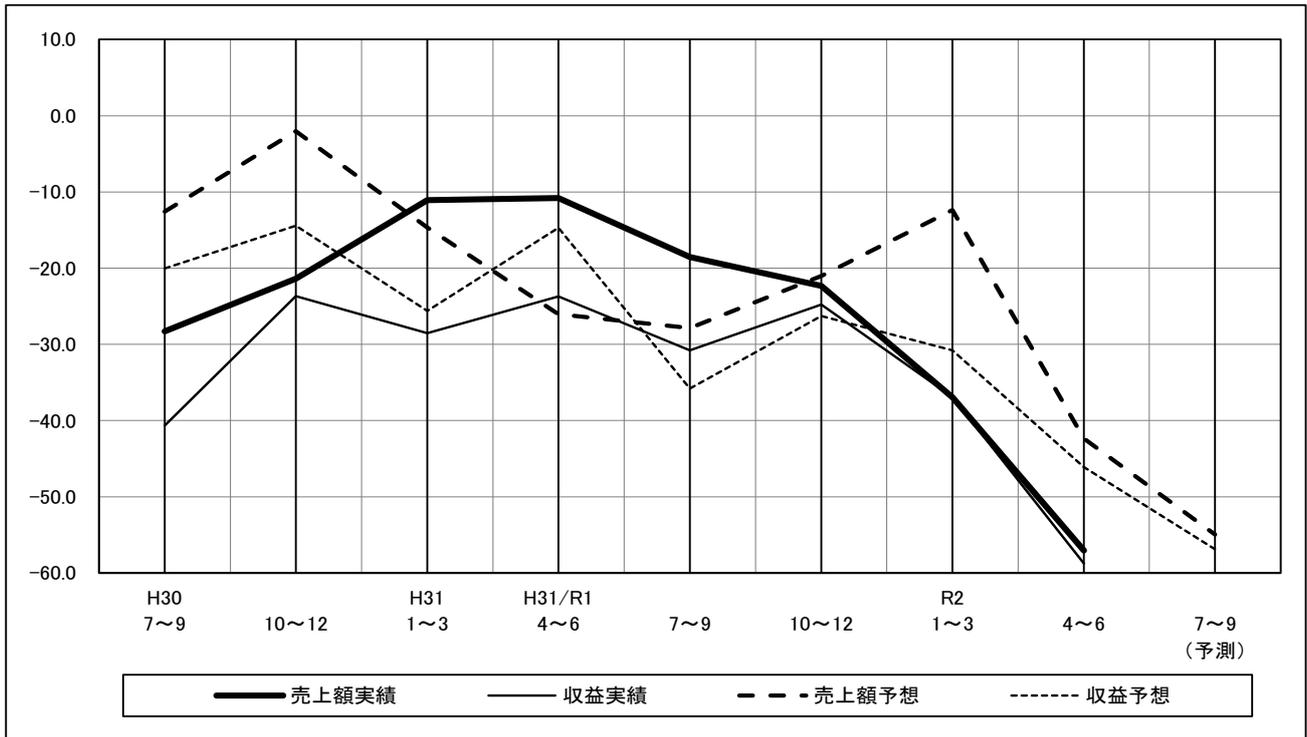
業況(△65→△74)は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや縮小すると予想されている。

〈建設業〉 品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

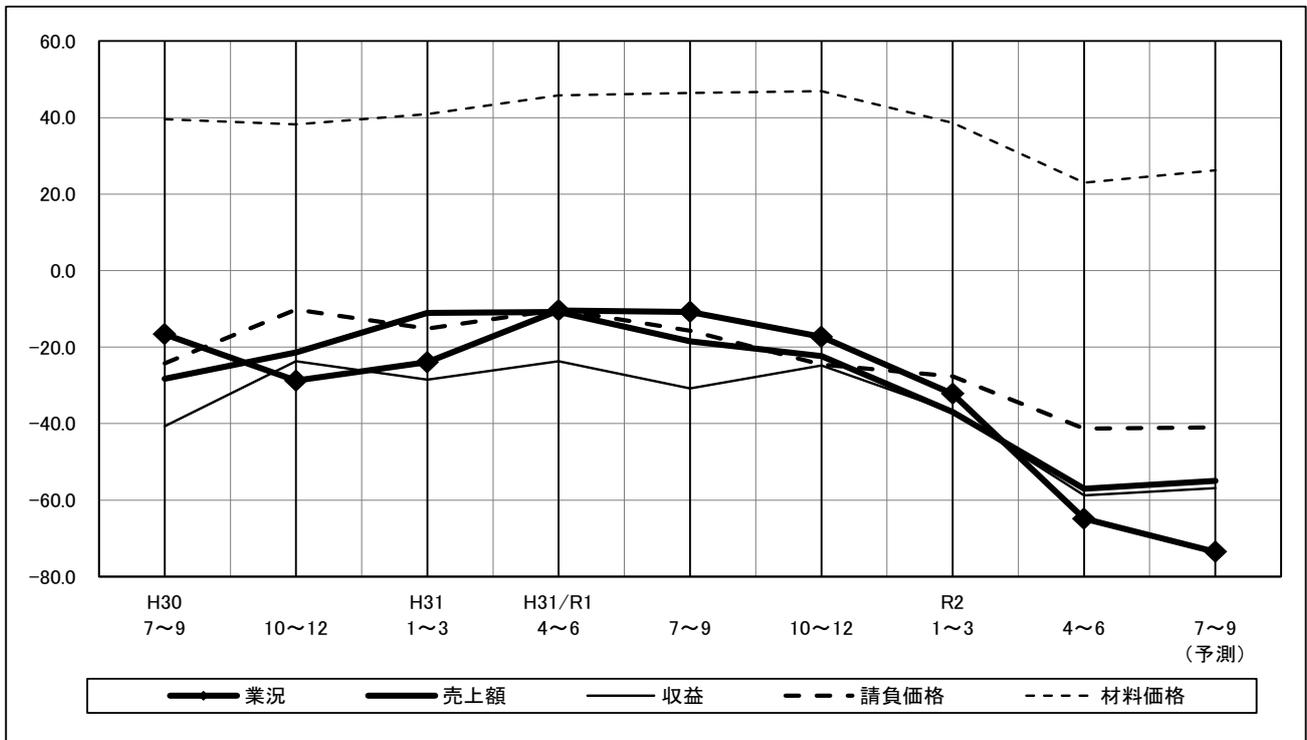


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

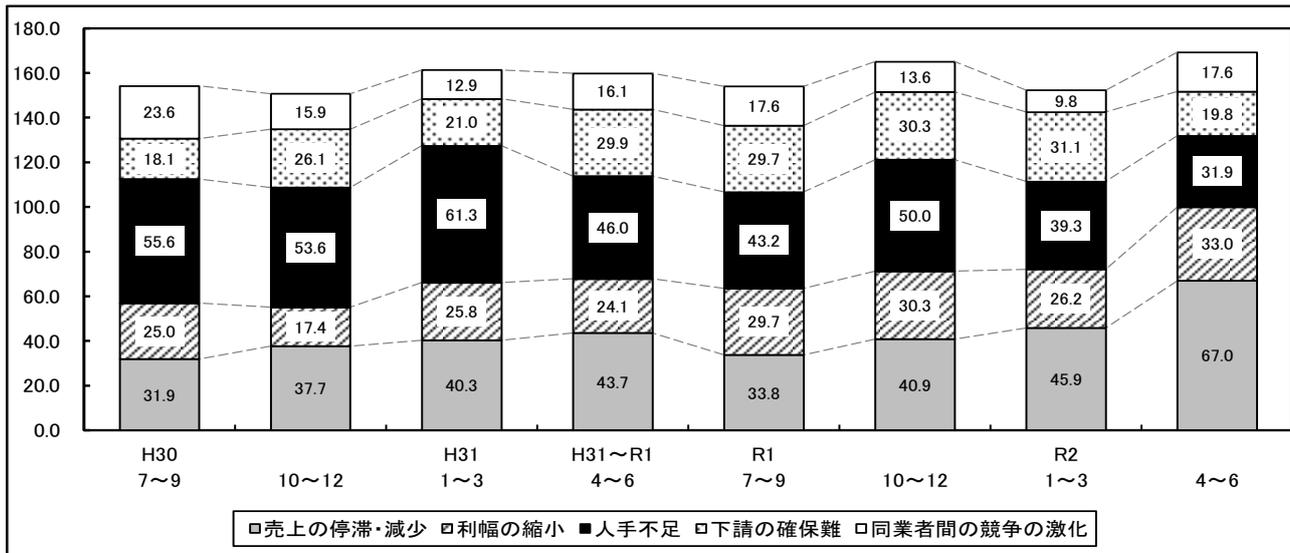
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

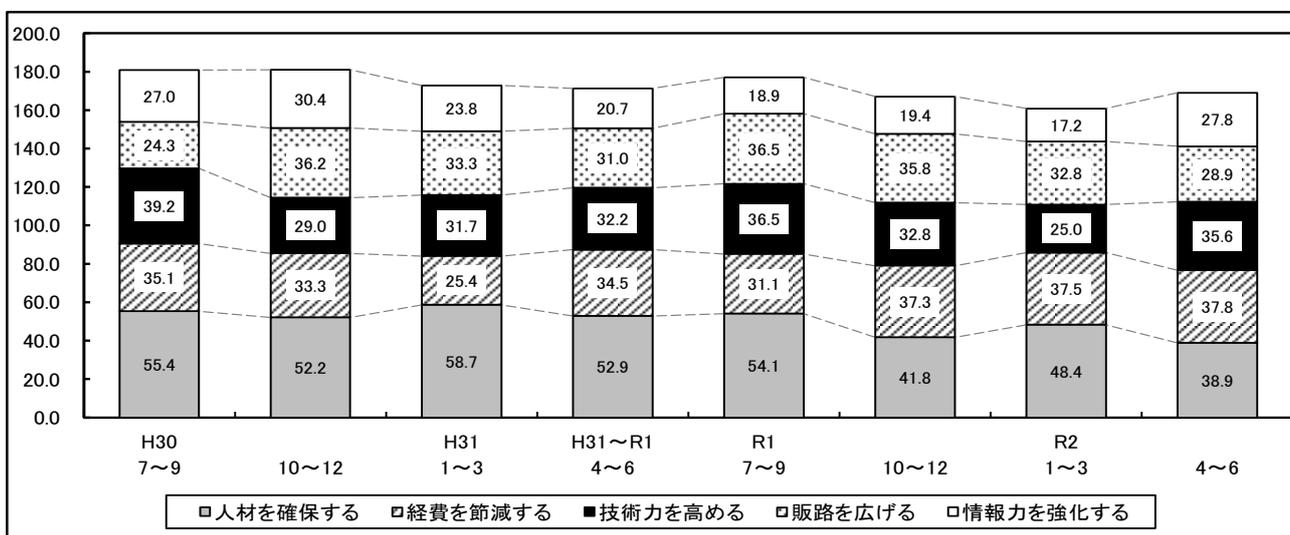


〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	人手不足	43.2 %	人手不足	50.0 %	売上の停滞・減少	45.9 %	売上の停滞・減少	67.0 %
第2位	売上の停滞・減少	33.8 %	売上の停滞・減少	40.9 %	人手不足	39.3 %	利幅の縮小	33.0 %
第3位	利幅の縮小	29.7 %	利幅の縮小 下請の確保難	30.3 % 30.3 %	下請の確保難	31.1 %	人手不足	31.9 %
第4位	下請の確保難	29.7 %	人件費の増加	18.2 %	利幅の縮小	26.2 %	下請の確保難	19.8 %
第5位	同業者間の競争の激化	17.6 %	材料価格の上昇	15.2 %	人件費の増加	23.0 %	同業者間の競争の激化	17.6 %

〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R1. 7~9月期		R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	
第1位	人材を確保する	54.1 %	人材を確保する	41.8 %	人材を確保する	48.4 %	人材を確保する	38.9 %
第2位	販路を広げる 技術力を高める	36.5 % 36.5 %	経費を節減する	37.3 %	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	37.8 %
第3位	経費を節減する	31.1 %	販路を広げる	35.8 %	販路を広げる	32.8 %	技術力を高める	35.6 %
第4位	情報力を強化する	18.9 %	技術力を高める	32.8 %	技術力を高める	25.0 %	販路を広げる	28.9 %
第5位	労働条件を改善する	17.6 %	情報力を強化する	19.4 %	情報力を強化する 労働条件を改善する	17.2 % 17.2 %	情報力を強化する	27.8 %

建設業 業種別コメント

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため営業を行うことができず、仕事を受注することが難しい。今後さらに借入金の返済に苦しむことになるであろう。不況の中、見通しも立たず困っている。
2. 景気に左右されない仕事を確保している。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一般ユーザーからのオーダーが減少している。季節柄、アジア等の需要は多い（新規・張替など）（ひかえ気味）
4. 工事の着工が来年になる物件が多いため、今期は売上が前期程は望めない。
5. 受注減により下請の職人が空いている。稼働がなければ利益なし。
6. 工事量が減少していて売上がのびない。
7. 今回は長期大型工事を受注していたので、新型コロナウイルスの影響による資金繰りで困ることはなかったが、客先では今後どのような影響が出るのか、まだ予想できない。
8. 技術のある下請が減っている。高齢化もある。
9. 受注増であるものの、経費をかけられない。
10. 代表者や下請職人の高齢化もあり、今後受注増は望めなくなってきた。別事業を強化していきたい。
11. 大手業者の進出により、中小不動産業者に物件の依頼がなくなっています。
12. 新型コロナウイルスの影響で売上激減、回転資金に苦慮。
13. 案件はあるが、進み方が遅く、発注までの時間を要している。
14. 人材不足、新型コロナウイルスによる工事延期等が厳しい。
15. 新型コロナウイルスの影響で受注大幅減少。
16. コロナ禍により得意先の設備投資が減り、仕事量は減少すると思われる。
17. 大型現場に関しては予定通りの工程で進んでいるが、小口の物件などは工事の延期や中止という話が出てきた。
18. 売上はあるものの、先の見通しが立っておらず不安。人手不足だが、今の売上では1人採用すると費用の方が増すため、悩んでいる。
19. この先第2四半期の見通しが悪く、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大による再自粛要請などが危惧されます。
20. 公共事業の先行きが見えず、心配している。
21. 受注増ではあるものの、技術力のある人員が不足しているため、技術者の業務負担が多くなる傾向がある。
22. 新型コロナウイルス感染症の影響により、当初発注予定だった案件が延期になり、仕事が減少している。毎年課題にある、人材の確保が出来ず、人手不足の状況を改善出来ていない。
23. 現場担当の高齢化による事業の停滞により若年層の疲弊が深刻化している。
24. 需要は昨年と変わりはないが、下請けの確保が大変である。
25. 今後の物件数減少に伴う単価の下落が予想されるが、下請け業者の単価下落は当面見込まれないと思われるので、利幅は極端に減少すると思われる。
26. 7~9月期は受注が落ちるが10~12月期は人手不足が予想されるので7~9月期の下請け含む人件費をいかに押さえるかが今期の課題である。
27. 今がチャンスと思い、積極的な人材確保に動いている。
28. 新型コロナウイルスの影響か、受注の減少傾向が続いている。
29. 自粛により、予定していた仕事のごとく中止となる。
30. 技術力及び人材の不足により、売上の減少傾向にある。
31. 増改修の手控えによる受注量が減少している。
32. 令和2年3月~5月末日位まで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止で休みが多い。そのため、6月以降は売上増加の見込み。

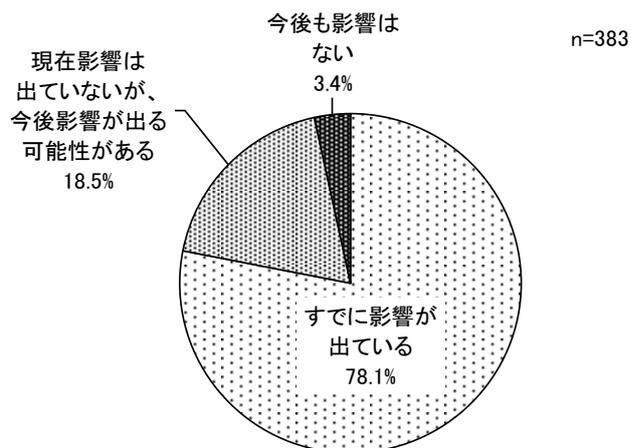
特別調査「新型コロナウイルス感染症による影響」

- ① 新型コロナウイルス感染症による影響の有無については「すでに影響が出ている」が78.1%で最多
- ② 具体的な影響については「製品・サービスの受注・売上減少」が72.0%で最多
- ③ 自社で行った対策については「衛生環境の充実（感染予防）」が47.3%で最多。
- ④ 行政に期待する支援については「資金面での支援制度の拡充」が66.0%で最多。

問1. 新型コロナウイルス感染症による影響の有無

新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響の有無については、全体では「すでに影響が出ている」が78.1%で最も多く、次いで「現在影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が18.5%、「今後も影響はない」が3.4%となった。

いずれの業種においても、景気の見通しについて、「すでに影響が出ている」に回答が集中していることを示す結果となった。「今後も影響はない」と回答した企業の割合が最も多いのはサービス業であったが、8.3%にとどまっており、他の業種で「今後も影響はない」と回答した企業は3%に満たなかった。なお、「すでに影響が出ている」と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の87.5%、最も少ないのは建設業の61.5%で、業種間の差は26.0ポイントとなっている。



(単位：%)

	すでに影響が出ている	現在影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある	今後も影響はない
全 体 (383) 件	78.1	18.5	3.4
製 造 業 (85) 件	77.6	20.0	2.4
卸 売 業 (79) 件	87.3	10.1	2.5
小 売 業 (56) 件	87.5	10.7	1.8
サ-ビス業 (72) 件	81.9	9.7	8.3
建 設 業 (91) 件	61.5	36.3	2.2

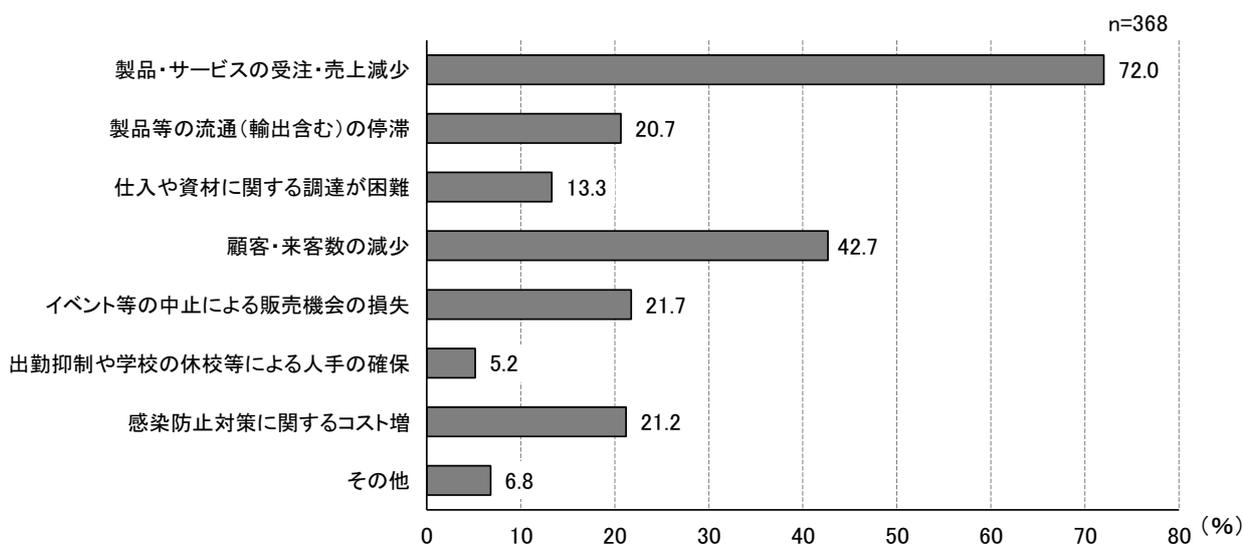
※図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。

そのため、合計した値が100%にならない場合がある（他設問についても同様）。

問2. 具体的な影響内容

新型コロナウイルス感染症による具体的な影響内容については、全体では「製品・サービスの受注・売上減少」が72.0%と最も多く、次いで「顧客・来客数の減少」が42.7%、「イベント等の中止による販売機会の損失」が21.7%となった。

ほとんどの業種で、「製品・サービスの受注・売上減少」に回答が集中していることを示す結果となった。一方で、小売業においては「顧客・来客数の減少」が9割以上と、他の業種に比べ極端に高い割合となっている。また、「イベント等の中止による販売機会の損失」も42.6%と、他の業種よりも回答割合が高い。



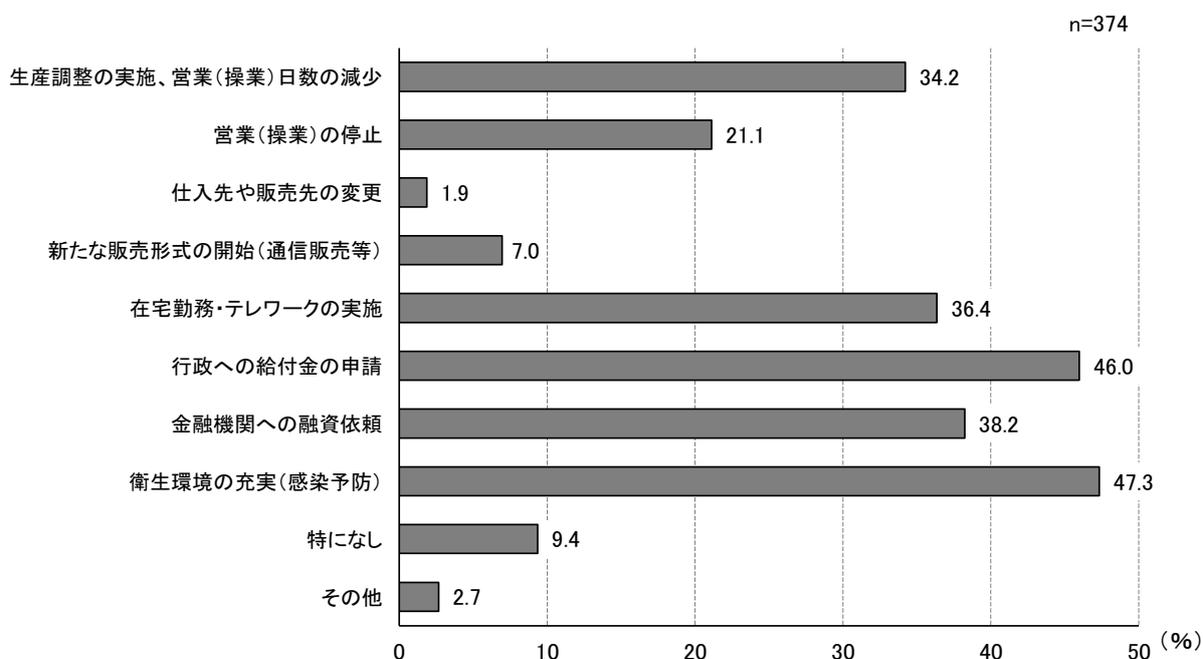
(単位：%)

	製品・サービスの受注・売上減少	製品等の流通(輸出含む)の停滞	仕入や資材に関する調達が困難	顧客・来客数の減少	イベント等の中止による販売機会の損失	出勤抑制や学校の休校等による人手の確保	感染防止対策に関するコスト増	その他
全体 (368) 件	72.0	20.7	13.3	42.7	21.7	5.2	21.2	6.8
製造業 (84) 件	82.1	28.6	15.5	25.0	14.3	4.8	10.7	3.6
卸売業 (77) 件	87.0	32.5	10.4	37.7	26.0	2.6	14.3	3.9
小売業 (54) 件	57.4	13.0	11.1	90.7	42.6	3.7	27.8	7.4
サービス業 (66) 件	68.2	7.6	7.6	43.9	25.8	9.1	25.8	7.6
建設業 (87) 件	60.9	17.2	19.5	33.3	9.2	5.7	29.9	11.5

問3. 自社で行った対策

自社で行った対策については、「衛生環境の充実（感染予防）」が47.3%と最も多く、次いで「行政への給付金の申請」が46.0%、「金融機関への融資依頼」が38.2%と続いた。

業種別にみると、「在宅勤務・テレワークの実施」について、卸売業が50.6%、サービス業が45.6%と高い割合を示す一方、小売業では12.5%と非常に低くなっている。さらに、小売業においては「行政への給付金の申請」が80.4%、「金融機関への融資依頼」が55.4%と、他の業種と比べて高い割合を示している。



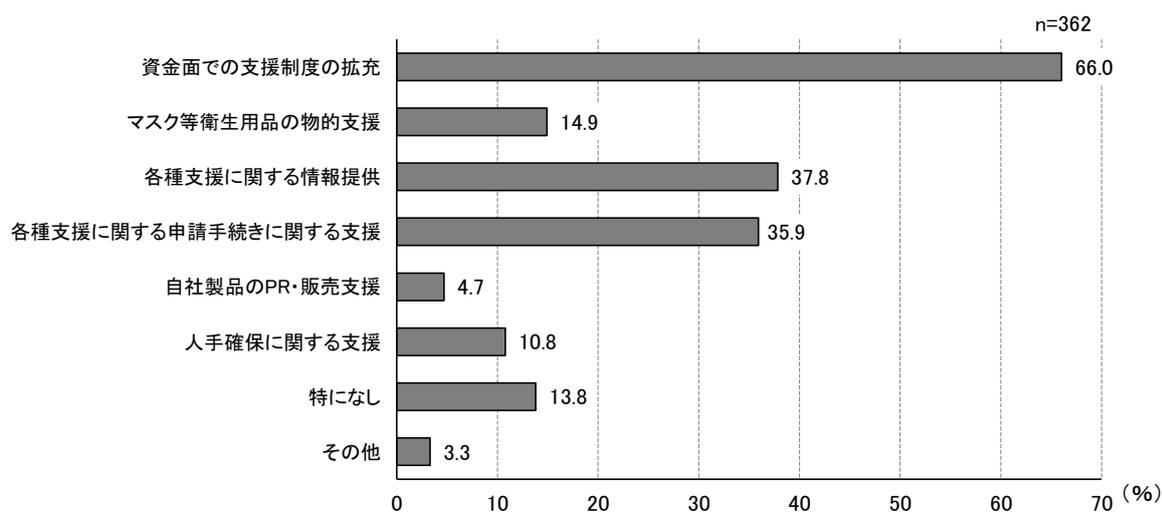
(単位：%)

	生産調整の実施、営業（操業）日数の減少	営業（操業）の停止	仕入先や販売先の変更	新たな販売形式の開始（通信販売等）	在宅勤務・テレワークの実施	行政への給付金の申請	金融機関への融資依頼	衛生環境の充実（感染予防）	特になし	その他
全体 (374) 件	34.2	21.1	1.9	7.0	36.4	46.0	38.2	47.3	9.4	2.7
製造業 (84) 件	35.7	13.1	1.2	2.4	26.2	39.3	34.5	45.2	11.9	1.2
卸売業 (77) 件	33.8	22.1	2.6	10.4	50.6	44.2	40.3	39.0	6.5	1.3
小売業 (56) 件	58.9	50.0	1.8	23.2	12.5	80.4	55.4	57.1	1.8	3.6
サービス業 (68) 件	22.1	16.2	1.5	2.9	45.6	42.6	29.4	51.5	7.4	5.9
建設業 (89) 件	27.0	13.5	2.2	1.1	41.6	34.8	36.0	47.2	15.7	2.2

問4. 行政に期待する支援

行政に期待する支援については、「資金面での支援制度の拡充」が66.0%と割合が最も多く、次いで「各種支援に関する情報提供」が37.8%、「各種支援に関する申請手続きに関する支援」が35.9%と続いた。助成金や補助金申請やその手法・情報提供といった、事業継続の根幹に関わる項目が上位3位を占めた。

上記の傾向はすべての業種において同様の傾向となった。「資金面での支援制度の拡充」についてみると、回答割合が最も多いのは小売業の75.9%、最も少ないのは卸売業の60.0%で、業種間の差は15.9ポイントとなった。



(単位：%)

	資金面での支援制度の拡充	マスク等衛生用品の物的支援	各種支援に関する情報提供	各種支援に関する申請手続きに関する支援	自社製品のPR・販売支援	人手確保に関する支援	特になし	その他
全 体 (362) 件	66.0	14.9	37.8	35.9	4.7	10.8	13.8	3.3
製 造 業 (82) 件	65.9	12.2	30.5	32.9	1.2	3.7	18.3	2.4
卸 売 業 (75) 件	60.0	8.0	53.3	38.7	9.3	6.7	14.7	6.7
小 売 業 (54) 件	75.9	11.1	44.4	44.4	7.4	9.3	7.4	3.7
サービ業 (67) 件	68.7	20.9	34.3	37.3	3.0	14.9	10.4	3.0
建 設 業 (84) 件	63.1	21.4	29.8	29.8	3.6	19.0	15.5	1.2

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和2年4月～6月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-65	-56	-55	-90	-69	-76
売上額		-59	-54	-50	-100	-65	-46
受注残		-55	-64	-45	-56	-63	-55
収益		-59	-56	-55	-100	-60	-40
販売価格		-17	5	-24	-20	-34	-18
原材料価格		5	13	4	0	4	3
原材料在庫		6	15	9	13	-20	10
資金繰り		-45	-29	-44	-74	-47	-43
雇用	残業時間	-45	-52	-27	-73	-53	-30
	人手	8	10	-8	46	-7	27
同期比	売上額	-68	0	-67	-100	-57	-60
	収益	-65	-43	-70	-100	-57	-64
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	81	76	85	92	73	82
	②利幅の縮小	25	19	23	42	27	18
	③同業者間の競争の激化	9	10	8	17	7	9
	④原材料高	9	5	15	0	7	18
	⑤販売納入先からの値下げ要請	2	5	0	0	7	0
重点経営施策	①販路を広げる	63	52	62	64	73	70
	②経費を節減する	57	52	58	55	60	60
	③新製品・技術を開発する	22	19	27	18	13	30
	④情報力を強化する	21	14	23	36	20	10
	⑤人材を確保する	13	14	19	0	20	0
借入の難易度		11	14	12	0	7	20

[来期の景況見通し]

業況		-75	-58	-79	-100	-83	-70
売上額		-63	-50	-70	-39	-81	-71
受注残		-61	-58	-61	-35	-75	-79
収益		-60	-48	-63	-61	-75	-69
販売価格		-12	-1	-11	-6	-35	-15
原材料価格		8	17	16	-7	-7	8
原材料在庫		3	4	11	-9	-12	19
資金繰り		-50	-36	-56	-62	-54	-44
雇用	残業時間	-34	-24	-27	-55	-40	-44
	人手	11	14	4	46	-13	20

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-84	-43	-100	-90
売上額		-78	-29	-100	-76
収益		-80	-33	-100	-83
販売価格		-17	-3	-29	-8
仕入価格		4	15	3	0
在庫		17	13	10	25
資金繰り		-47	0	-73	-44
雇用	残業時間	-60	-33	-64	-71
	人手	5	-39	11	29
同期比	売上額	-71	-31	-96	-61
	収益	-73	-31	-96	-67
	販売価格	-19	-15	-18	-22
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	86	50	96	0
	②仕入先からの値上げ要請	6	0	11	0
	③人手不足	16	30	18	0
	④利幅の縮小	22	20	21	0
	⑤同業者間の競争の激化	6	10	0	0
重点経営施策	①経費を節減する	55	39	67	0
	②宣伝・広報を強化する	24	15	33	0
	③売れ筋商品を取扱う	22	0	25	0
	④人材を確保する	7	0	17	0
	⑤仕入先を開拓・選別する	15	8	13	0
借入の難易度		15	27	11	13

[来期の景況見通し]

業況		-73	-50	-88	-63
売上額		-47	-34	-58	-39
収益		-54	-39	-60	-53
販売価格		-9	-17	-4	-11
仕入価格		9	29	8	2
在庫		10	11	0	18
資金繰り		-47	-14	-68	-41
雇用	残業時間	-40	-33	-43	-41
	人手	-2	-39	0	24

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対前期比	R2
	7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期			
業況	良い	15.5	18.0	29.0	22.4	23.0	23.2	19.5	19.2	12.0	14.3	17.7	12.0	17.7	12.7	10.5	11.3			3.5
	普通	38.0	36.0	36.2	37.3	43.2	31.9	33.3	39.7	26.7	33.3	25.3	33.3	19.4	39.2	10.5	16.1			14.1
	悪い	46.5	46.1	34.8	40.3	33.8	44.9	47.1	41.1	61.3	52.4	57.0	54.7	62.9	48.1	79.1	72.6			82.4
	D・I	-31.0	-28.1	-5.8	-17.9	-10.8	-21.7	-27.6	-21.9	-49.3	-38.1	-39.2	-42.7	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3			-78.8
	修正値	-25.7	-26.2	-10.6	-22.0	-19.9	-24.2	-24.1	-23.3	-43.1	-34.4	-40.5	-44.6	-48.6	-36.5	-64.9	-59.1	-16.0		-75.4
	傾向値	-14.5		-15.6		-15.9		-17.5		-21.1		-27.6		-36.0		-45.5				
売上額	増加	21.1	17.8	36.2	28.6	20.3	24.6	20.7	16.2	16.2	18.4	27.8	18.7	17.7	11.4	11.6	6.5			5.9
	変らず	39.4	41.1	29.0	34.3	44.6	24.6	26.4	41.9	23.0	31.0	19.0	30.7	25.8	39.2	9.3	27.4			22.4
	減少	39.4	41.1	34.8	37.1	35.1	50.7	52.9	41.9	60.8	50.6	53.2	50.7	56.5	49.4	79.1	66.1			71.8
	D・I	-18.3	-23.3	1.4	-8.6	-14.9	-26.1	-32.2	-25.7	-44.6	-32.2	-25.3	-32.0	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7			-65.9
	修正値	-11.5	-21.6	-11.8	-16.4	-22.3	-30.7	-20.7	-19.3	-38.8	-28.5	-33.3	-36.7	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-16.0		-62.5
	傾向値	-10.2		-11.9		-13.6		-15.0		-19.3		-25.9		-32.2		-39.6				
受注残	増加	17.1	14.6	14.7	23.2	16.2	14.7	14.0	14.9	12.5	18.6	14.3	12.3	6.5	5.1	11.6	4.8			5.9
	変らず	47.1	48.3	45.6	42.0	52.7	42.6	43.0	51.4	31.9	39.5	40.3	38.4	43.5	48.7	16.3	43.5			23.5
	減少	35.7	37.1	39.7	34.8	31.1	42.6	43.0	33.8	55.6	41.9	45.5	49.3	50.0	46.2	72.1	51.6			70.6
	D・I	-18.6	-22.5	-25.0	-11.6	-14.9	-27.9	-29.1	-18.9	-43.1	-23.3	-31.2	-37.0	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8			-64.7
	修正値	-15.9	-19.8	-27.8	-15.9	-23.0	-28.8	-23.1	-20.7	-39.8	-19.3	-32.6	-37.8	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-8.0		-61.1
	傾向値	-11.9		-14.6		-18.2		-20.5		-24.9		-28.8		-33.1		-40.6				
収益	増加	16.9	12.2	30.4	22.9	20.5	22.1	11.5	13.5	12.3	14.9	17.9	18.7	14.5	9.0	10.5	11.3			8.3
	変らず	32.4	40.0	36.2	35.7	45.2	33.8	33.3	43.2	20.5	31.0	25.6	30.7	27.4	39.7	11.6	29.0			17.9
	減少	50.7	47.8	33.3	41.4	34.2	44.1	55.2	43.2	67.1	54.0	56.4	50.7	58.1	51.3	77.9	59.7			73.8
	D・I	-33.8	-35.6	-2.9	-18.6	-13.7	-22.1	-43.7	-29.7	-54.8	-39.1	-38.5	-32.0	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4			-65.5
	修正値	-27.9	-34.8	-15.6	-25.6	-22.4	-26.8	-33.5	-24.8	-48.9	-35.9	-45.5	-36.8	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-10.0		-60.4
	傾向値	-18.2		-20.0		-21.0		-22.6		-26.1		-33.2		-41.4		-48.1				
価格動向	販売価格	-17.1	-13.3	-7.1	-8.7	-5.4	-8.7	-13.8	-5.4	-12.2	-19.5	-6.3	-14.9	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6			-15.3
	修正値	-16.8	-11.4	-8.7	-11.4	-9.5	-9.1	-11.4	-8.6	-11.9	-16.7	-10.1	-16.9	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-1.0		-11.5
	傾向値	-12.0		-12.1		-11.0		-10.7		-10.2		-9.5		-10.4		-12.2				
	原材料価格	43.7	48.3	37.1	52.9	47.3	36.2	43.7	35.1	29.7	41.4	32.9	36.5	27.4	20.3	3.5	23.0			8.2
	修正値	42.1	45.6	39.0	51.5	49.0	40.0	43.6	37.3	32.1	39.9	36.3	38.0	27.4	26.5	5.2	23.5	-22.0		7.7
	傾向値	42.0		43.7		44.7		43.9		41.2		38.9		35.9		28.4				
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	9.9	8.9	8.7	0.0	5.4	7.5	15.9	5.4	20.3	11.4	6.4	18.7	11.5	10.3	7.2	16.4			3.7
	修正値	8.9	7.9	11.6	1.6	7.7	11.1	13.6	4.1	18.3	9.3	8.3	19.8	14.0	12.1	5.8	14.7	-8.0		3.0
	資金繰り	-22.5	-17.8	-17.4	-31.4	-8.1	-16.2	-17.0	-16.2	-26.7	-26.1	-20.5	-33.3	-29.0	-26.9	-47.7	-40.3			-54.1
修正値	-22.0	-16.5	-16.1	-32.8	-14.1	-16.7	-17.7	-21.2	-24.5	-22.7	-18.5	-32.2	-30.9	-26.9	-45.4	-41.6	-14.0		-49.7	
前年同期比	売上額	-18.8		4.5		-9.8		-32.1		-30.1		-40.6		-57.4		-67.9				
	収益	-28.8		-7.6		-10.0		-35.7		-38.4		-46.3		-58.1		-64.7				
雇用	残業時間	-12.3	-17.6	-1.5	-9.4	-3.3	-15.6	-26.2	-16.4	-24.3	-20.2	-24.6	-4.1	-31.1	-24.6	-44.6	-27.9			-34.1
	人手	-12.1	-20.2	-21.2	-15.4	-37.1	-18.8	-26.2	-25.8	-16.2	-18.1	-10.1	-18.9	-15.0	-10.1	8.3	-6.7			10.8
借入金	借入難易度	10.0		10.9		16.9		8.4		2.7		4.6		1.6		10.8				
	借入をした(%)	27.0	21.3	31.7	18.3	32.3	29.3	25.3	24.6	28.4	21.0	31.7	29.0	27.4	32.8	42.0	23.3			36.0
	借入をしない(%)	73.0	78.8	68.3	81.7	67.7	70.7	74.7	75.4	71.6	79.0	68.3	71.0	72.6	67.2	58.0	76.7			64.0
有効回答事業所数		71		70		74		88		75		79		62		86				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対 前期比	R2 7～9月期
	7～9月期		7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期			
設備投資動向（％）	現在の設備	-8.1	-7.5	-6.3	-11.3	-17.7	0.0	-14.5	-13.3	-9.3	-12.2	-7.5	-9.3	-8.2	-6.0	-6.1	0.0			-4.9
	実施した	22.6	28.0	43.5	35.5	38.3	41.9	36.3	32.7	29.6	40.0	29.4	28.6	20.3	25.8	22.2	20.3			15.0
	事業用地・建物	1.6	4.0	3.2	1.6	3.3	4.8	5.0	5.5	2.8	6.3	4.4	4.3	1.7	4.5	3.7	0.0			2.5
	機械・設備の新・増設	12.9	9.3	11.3	6.5	16.7	16.1	11.3	10.9	15.5	18.8	11.8	8.6	8.5	12.1	7.4	5.1			6.3
	機械・設備の更改	8.1	17.3	19.4	17.7	15.0	16.1	13.8	10.9	9.9	18.8	7.4	14.3	1.7	7.6	4.9	6.8			3.8
	事務機器	8.1	5.3	8.1	12.9	10.0	11.3	10.0	10.9	9.9	8.8	16.2	10.0	13.6	7.6	8.6	11.9			6.3
	車両	8.1	5.3	17.7	6.5	15.0	8.1	6.3	7.3	11.3	7.5	7.4	4.3	3.4	3.0	4.9	6.8			3.8
	その他	3.2	0.0	6.5	1.6	0.0	0.0	3.8	1.8	2.8	2.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0			1.3
	実施しない	77.4	72.0	56.5	64.5	61.7	58.1	63.8	67.3	70.4	60.0	70.6	71.4	79.7	74.2	77.8	79.7			85.0
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	46.0		49.2		45.0		54.8		65.3		69.2		66.1		81.2			
人手不足		23.8		29.2		38.3		28.6		27.8		16.9		16.1		10.6				
大手企業との競争の激化		1.6		0.0		3.3		1.2		2.8		1.5		0.0		0.0				
同業者間の競争の激化		20.6		13.8		6.7		9.5		15.3		18.5		11.3		9.4				
親企業による選別の強化		3.2		4.6		3.3		3.6		4.2		6.2		3.2		1.2				
輸入製品との競争の激化		1.6		1.5		6.7		2.4		1.4		1.5		1.6		2.4				
合理化の不足		7.9		9.2		8.3		11.9		8.3		6.2		6.5		5.9				
利幅の縮小		23.8		18.5		15.0		16.7		16.7		18.5		29.0		24.7				
原材料高		28.6		23.1		23.3		23.8		18.1		15.4		21.0		9.4				
販売納入先からの値下げ要請		3.2		6.2		5.0		6.0		6.9		0.0		6.5		2.4				
仕入先からの値上げ要請		7.9		12.3		11.7		11.9		6.9		4.6		8.1		5.9				
人件費の増加		9.5		12.3		10.0		10.7		9.7		21.5		9.7		11.8				
人件費以外の経費増加		11.1		9.2		3.3		6.0		6.9		12.3		8.1		5.9				
工場・機械の狭小・老朽化		22.2		18.5		30.0		20.2		19.4		15.4		17.7		17.6				
生産能力の不足		3.2		6.2		6.7		7.1		9.7		6.2		11.3		4.7				
下請の確保難		4.8		7.7		13.3		9.5		9.7		9.2		8.1		9.4				
代金回収の悪化		3.2		6.2		1.7		0.0		0.0		0.0		1.6		1.2				
地価の高騰		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0				
天候の不順		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2				
地場産業の衰退		4.8		1.5		1.7		3.6		1.4		1.5		3.2		5.9				
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		4.6		5.0		4.8		11.1		9.2		6.5		4.7					
為替レートの変動	3.2		3.1		0.0		1.2		0.0		1.5		3.2		1.2					
その他	6.3		7.7		0.0		3.6		5.6		1.5		8.1		7.1					
問題なし	1.6		1.5		1.7		6.0		2.8		3.1		1.6		0.0					
重点経営施策（％）	販路を広げる	54.0		54.0		51.7		59.8		54.8		51.5		47.5		62.7				
	経費を節減する	39.7		30.2		48.3		43.9		47.9		38.2		37.7		56.6				
	情報力を強化する	17.5		19.0		18.3		15.9		16.4		26.5		18.0		20.5				
	新製品・技術を開発する	27.0		30.2		21.7		24.4		24.7		20.6		31.1		21.7				
	不採算部門を整理・縮小する	3.2		7.9		6.7		8.5		8.2		5.9		3.3		10.8				
	提携先を見つける	6.3		7.9		6.7		13.4		8.2		13.2		11.5		14.5				
	機械化を推進する	19.0		12.7		11.7		11.0		9.6		10.3		13.1		3.6				
	人材を確保する	36.5		34.9		41.7		31.7		37.0		33.8		21.3		13.3				
	パート化を図る	3.2		0.0		3.3		1.2		2.7		0.0		1.6		2.4				
	教育訓練を強化する	17.5		19.0		10.0		11.0		13.7		10.3		14.8		16.9				
	労働条件を改善する	3.2		6.3		3.3		2.4		2.7		4.4		9.8		3.6				
	工場・機械を増設・移転する	4.8		15.9		15.0		6.1		6.8		4.4		3.3		8.4				
	不動産の有効活用を図る	7.9		4.8		5.0		3.7		4.1		4.4		4.9		1.2				
その他	1.6		1.6		0.0		0.0		0.0		2.9		3.3		2.4					
特になし	4.8		4.8		1.7		7.3		6.8		10.3		4.9		6.0					
有効回答事業所数		71		70		74		88		75		79		62		86				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対	R2
項目		7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	前期比	7～9月期
業況	良い	18.1	17.9	23.6	20.7	6.6	18.6	20.7	8.0	15.1	14.1	14.3	5.6	7.9	10.5	3.8	1.6		2.5
	普通	33.7	46.3	40.3	41.5	42.1	34.3	28.7	41.3	35.6	27.1	27.3	36.6	20.6	40.8	6.3	15.9		11.4
	悪い	48.2	35.8	36.1	37.8	51.3	47.1	50.6	50.7	49.3	58.8	58.4	57.7	71.4	48.7	89.9	82.5		86.1
	D・I	-30.1	-17.9	-12.5	-17.1	-44.7	-28.6	-29.9	-42.7	-34.2	-44.7	-44.2	-52.1	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0		-83.5
	修正値	-29.0	-19.1	-17.0	-20.7	-43.6	-23.7	-27.9	-42.0	-33.1	-41.8	-44.6	-52.8	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-25.0	-81.7
	傾向値	-25.0		-25.7		-26.7		-29.1		-29.8		-34.3		-40.6		-50.0			
売上額	増加	26.2	33.0	34.2	30.1	15.8	15.9	18.4	14.5	21.9	17.4	15.6	19.4	20.6	14.5	2.5	7.9		10.1
	変らず	27.4	37.1	28.8	37.3	32.9	37.7	23.0	47.4	23.3	26.7	29.9	27.8	15.9	32.9	11.4	14.3		19.0
	減少	46.4	29.9	37.0	32.5	51.3	46.4	58.6	38.2	54.8	55.8	54.5	52.8	63.5	52.6	86.1	77.8		70.9
	D・I	-20.2	3.1	-2.7	-2.4	-35.5	-30.4	-40.2	-23.7	-32.9	-38.4	-39.0	-33.3	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8		-60.8
	修正値	-18.2	-0.5	-16.1	-11.2	-30.4	-20.2	-33.1	-22.1	-31.0	-37.5	-45.9	-38.9	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-43.0	-58.6
	傾向値	-13.3		-14.9		-16.9		-21.7		-26.3		-32.4		-37.8		-44.1			
収益	増加	26.2	30.9	27.4	28.0	10.5	14.3	18.4	11.8	17.8	16.3	15.6	11.1	16.1	11.8	2.5	6.5		10.1
	変らず	28.6	37.1	34.2	36.6	32.9	37.1	28.7	48.7	26.0	25.6	29.9	34.7	21.0	36.8	12.7	19.4		16.5
	減少	45.2	32.0	38.4	35.4	56.6	48.6	52.9	39.5	56.2	58.1	54.5	54.2	62.9	51.3	84.8	74.2		73.4
	D・I	-19.0	-1.0	-11.0	-7.3	-46.1	-34.3	-34.5	-27.6	-38.4	-41.9	-39.0	-43.1	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7		-63.3
	修正値	-21.1	-5.1	-20.6	-14.0	-41.5	-25.9	-28.1	-27.5	-38.9	-41.5	-44.2	-46.1	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-38.0	-61.7
	傾向値	-21.7		-21.6		-23.5		-26.7		-30.0		-36.0		-39.6		-45.6			
価格動向	販売価格	-3.6	-3.1	-5.5	-3.7	0.0	-8.6	-5.8	6.6	-1.4	-7.1	-11.8	-9.9	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2		-35.4
	修正値	-4.0	-1.9	-7.4	-1.9	-0.9	-8.5	-3.0	2.7	-0.7	-3.8	-11.3	-6.9	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-12.0	-31.2
	傾向値	-2.1		-2.9		-3.9		-3.9		-3.4		-4.0		-6.5		-11.4			
	仕入価格	28.6	30.9	32.9	36.1	39.5	27.1	32.6	44.7	36.1	30.6	10.5	22.5	4.8	14.5	3.8	3.2		-1.3
	修正値	32.3	32.6	29.0	36.8	42.5	29.5	32.2	43.2	43.1	32.8	11.8	26.0	9.4	18.5	5.5	5.2	-4.0	1.8
	傾向値	31.0		32.1		34.2		34.6		34.3		32.5		25.3		17.4			
在庫・資金繰り	在庫数量	19.3	5.2	15.3	9.8	13.7	8.6	12.9	8.2	22.5	7.1	18.9	21.4	29.5	20.0	32.0	14.8		26.7
	修正値	18.1	7.7	19.0	10.5	10.5	9.3	15.6	5.4	19.2	10.4	20.9	18.9	24.8	18.4	33.5	13.3	9.0	29.4
	資金繰り	-18.1	-2.1	1.4	-15.9	-3.9	4.3	-14.9	-6.6	-11.1	-17.6	-6.5	-11.3	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4		-37.2
修正値	-15.7	-2.3	-0.4	-16.7	-6.8	4.2	-15.4	-8.6	-6.8	-16.3	-9.6	-11.1	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-15.0	-33.7	
前年同期比	売上額	-18.3		-13.7		-45.1		-23.0		-27.8		-35.8		-53.2		-75.9			
	収益	-26.5		-20.5		-45.1		-34.5		-36.1		-41.8		-58.1		-82.3			
	販売価格	-4.9		0.0		0.0		-3.5		-5.6		-1.5		-23.0		-36.7			
雇用	残業時間	-9.8	-5.4	-12.5	0.0	-5.6	-11.1	-17.4	-8.5	-6.9	-11.6	-12.1	-4.2	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6		-27.3
	人手	-27.7	-27.2	-28.8	-36.6	-26.8	-21.9	-19.8	-22.5	-29.6	-25.6	-23.1	-27.5	-9.7	-15.4	15.4	-8.1		15.4
	借入金	借入難易度	16.0		8.5		4.3		-2.4		7.0		3.1		-6.3		4.0		
借入をした(%)	38.6	16.7	35.6	25.0	27.5	22.4	34.5	24.6	34.7	28.0	32.8	25.8	35.0	28.6	40.3	31.1		42.3	
借入をしない(%)	61.4	83.3	64.4	75.0	72.5	77.6	65.5	75.4	65.3	72.0	67.2	74.2	65.0	71.4	59.7	68.9		57.7	
有効回答事業所数		84		73		76		87		73		77		63		80			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対	R2	
項目		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		前期比	7～9月期	
設備投資動向（％）	現在の設備	-3.8	-1.1	-11.9	-7.7	-11.9	-12.1	-11.0	-9.1	-8.7	-14.6	-7.9	-10.3	-3.4	-3.2	-1.4	-3.4		-7.0	
	実施した	27.3	30.5	25.0	28.4	33.8	31.9	37.3	30.8	33.8	36.8	29.0	33.8	24.6	37.7	28.4	20.4		31.0	
	投資内容																			
	事業用地・建物	5.2	3.7	0.0	5.4	1.5	0.0	1.2	0.0	4.4	1.3	1.6	0.0	1.8	4.9	1.4	0.0		4.2	
	機械・設備の新・増設	3.9	7.3	1.5	2.7	6.2	5.8	4.8	3.1	8.8	3.9	6.5	4.6	1.8	8.2	8.1	0.0		7.0	
	機械・設備の更改	9.1	6.1	4.4	8.1	6.2	7.2	7.2	15.4	5.9	6.6	4.8	7.7	1.8	8.2	8.1	3.7		2.8	
	事務機器	9.1	12.2	17.6	14.9	13.8	15.9	21.7	9.2	19.1	23.7	22.6	18.5	15.8	21.3	16.2	16.7		18.3	
	車両	13.0	15.9	13.2	12.2	16.9	17.4	15.7	15.4	14.7	11.8	12.9	12.3	14.0	14.8	10.8	11.1		7.0	
	その他	0.0	1.2	0.0	1.4	1.5	0.0	2.4	1.5	0.0	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
実施しない	72.7	69.5	75.0	71.6	66.2	68.1	62.7	69.2	66.2	63.2	71.0	66.2	75.4	62.3	71.6	79.6		69.0		
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	42.0		40.3		48.5		54.9		60.0		53.8		58.3		77.6				
	人手不足	17.3		22.2		20.6		18.3		24.3		15.4		8.3		6.6				
	同業者間の競争の激化	30.9		22.2		25.0		26.8		21.4		21.5		18.3		21.1				
	輸入製品との競争の激化	1.2		2.8		1.5		4.9		1.4		0.0		0.0		2.6				
	流通経路の変化による競争の激化	8.6		8.3		8.8		3.7		10.0		9.2		10.0		9.2				
	合理化の不足	6.2		6.9		7.4		2.4		1.4		4.6		6.7		6.6				
	小口注文・多頻度配送の増加	6.2		9.7		10.3		12.2		10.0		9.2		6.7		6.6				
	利幅の縮小	33.3		25.0		26.5		30.5		28.6		35.4		36.7		23.7				
	取扱商品の陳腐化	6.2		1.4		5.9		2.4		7.1		9.2		3.3		2.6				
	販売商品の不足	4.9		9.7		4.4		2.4		0.0		7.7		11.7		6.6				
	販売納入先からの値下げ要請	4.9		4.2		1.5		6.1		1.4		1.5		3.3		7.9				
	仕入先からの値上げ要請	13.6		15.3		19.1		9.8		11.4		9.2		1.7		5.3				
	人件費の増加	8.6		11.1		8.8		12.2		10.0		13.8		6.7		10.5				
	人件費以外の経費の増加	12.3		9.7		7.4		12.2		11.4		9.2		6.7		7.9				
	取引先の減少	9.9		13.9		19.1		19.5		21.4		13.8		26.7		21.1				
	店舗の狭小・老朽化	2.5		2.8		4.4		1.2		5.7		3.1		1.7		2.6				
	代金回収の悪化	1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		1.7		7.9				
	地価の高騰	0.0		1.4		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0				
	駐車場の確保難	0.0		0.0		1.5		0.0		1.4		1.5		1.7		0.0				
	天候の不順	2.5		5.6		0.0		2.4		7.1		9.2		3.3		1.3				
	地場産業の衰退	1.2		4.2		1.5		3.7		4.3		4.6		3.3		1.3				
	為替レートの変動	19.8		16.7		13.2		18.3		12.9		9.2		13.3		6.6				
	大手企業・工場の縮小・撤退	4.9		4.2		2.9		6.1		2.9		7.7		3.3		7.9				
	その他	3.7		2.8		2.9		2.4		0.0		0.0		11.7		7.9				
問題なし	3.7		6.9		5.9		1.2		1.4		3.1		1.7		1.3					
重点経営施策（％）	販路を広げる	48.8		54.8		62.3		59.3		56.9		56.9		54.0		55.3				
	経費を削減する	35.4		32.9		36.2		40.7		38.9		36.9		49.2		51.3				
	品揃えを充実する	18.3		15.1		17.4		16.3		19.4		20.0		17.5		15.8				
	情報力を強化する	26.8		28.8		33.3		29.1		31.9		23.1		27.0		38.2				
	新しい事業を始める	14.6		13.7		2.9		14.0		12.5		9.2		11.1		10.5				
	提携先を見つける	8.5		5.5		11.6		7.0		5.6		4.6		3.2		9.2				
	機械化を推進する	7.3		2.7		1.4		3.5		2.8		3.1		1.6		2.6				
	人材を確保する	22.0		27.4		20.3		30.2		23.6		24.6		19.0		15.8				
	パート化を図る	1.2		1.4		0.0		1.2		4.2		3.1		1.6		0.0				
	教育訓練を強化する	13.4		9.6		13.0		8.1		5.6		6.2		11.1		7.9				
	流通経路の見直しをする	4.9		6.8		8.7		4.7		6.9		6.2		7.9		2.6				
	取引先を支援する	1.2		6.8		4.3		2.3		2.8		1.5		3.2		0.0				
	輸入品の取扱いを増やす	4.9		9.6		1.4		2.3		4.2		1.5		6.3		1.3				
	労働条件を改善する	3.7		4.1		4.3		4.7		4.2		7.7		1.6		5.3				
	不動産の有効活用を図る	2.4		1.4		4.3		3.5		2.8		7.7		3.2		3.9				
	その他	2.4		8.2		0.0		2.3		1.4		1.5		0.0		5.3				
	特になし	11.0		11.0		10.1		9.3		11.1		10.8		6.3		6.6				
有効回答事業所数	84		73		76		87		73		77		63		80					

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対 前期比	R2 7～9月期
	7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期					
業況	良い	6.6	18.8	9.2	17.3	6.2	4.6	15.1	17.2	16.9	16.4	9.8	19.0	2.7	1.6	3.2	2.8		4.8	
	普通	40.8	36.3	56.9	44.0	53.8	61.5	34.2	34.4	28.8	39.7	34.4	27.6	8.1	57.4	7.9	2.8		14.3	
	悪い	52.6	45.0	33.8	38.7	40.0	33.8	50.7	48.4	54.2	43.8	55.7	53.4	89.2	41.0	88.9	94.4		81.0	
	D・I	-46.1	-26.3	-24.6	-21.3	-33.8	-29.2	-35.6	-31.3	-37.3	-27.4	-45.9	-34.5	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7		-76.2	
	修正値	-39.2	-15.3	-30.5	-27.0	-38.2	-26.9	-33.0	-36.1	-29.8	-22.1	-49.6	-37.0	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	1.0	-72.9	
	傾向値	-31.6		-32.1		-32.6		-34.6		-33.9		-35.5		-44.7		-57.6				
売上額	増加	22.4	27.5	23.1	28.9	10.8	12.3	24.7	17.2	13.8	16.4	16.4	25.4	8.1	6.6	9.5	0.0		12.7	
	変らず	23.7	33.8	46.2	36.8	44.6	56.9	31.5	37.5	22.4	34.2	36.1	22.0	2.7	55.7	3.2	13.5		20.6	
	減少	53.9	38.8	30.8	34.2	44.6	30.8	43.8	45.3	63.8	49.3	47.5	52.5	89.2	37.7	87.3	86.5		66.7	
	D・I	-31.6	-11.3	-7.7	-5.3	-33.8	-18.5	-19.2	-28.1	-50.0	-32.9	-31.1	-27.1	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5		-54.0	
	修正値	-29.4	4.0	-19.3	-18.1	-24.9	-10.3	-22.1	-34.3	-45.7	-22.8	-39.3	-34.7	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-2.0	-47.1	
	傾向値	-25.2		-24.6		-22.1		-22.4		-25.4		-30.6		-39.4		-52.7				
収益	増加	9.2	27.5	16.9	18.4	6.2	7.7	17.8	18.8	10.2	13.7	13.1	16.9	0.0	3.3	7.9	0.0		11.1	
	変らず	36.8	32.5	49.2	47.4	43.1	64.6	35.6	35.9	30.5	39.7	31.1	32.2	10.8	55.7	4.8	13.5		20.6	
	減少	53.9	40.0	33.8	34.2	50.8	27.7	46.6	45.3	59.3	46.6	55.7	50.8	89.2	41.0	87.3	86.5		68.3	
	D・I	-44.7	-12.5	-16.9	-15.8	-44.6	-20.0	-28.8	-26.6	-49.2	-32.9	-42.6	-33.9	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5		-57.1	
	修正値	-44.5	-2.6	-24.0	-28.4	-38.4	-11.4	-32.7	-31.4	-46.6	-27.0	-46.2	-40.0	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	6.0	-53.6	
	傾向値	-32.5		-33.2		-31.5		-32.9		-34.3		-38.1		-46.9		-58.8				
価格動向	販売価格	1.3	-7.5	-3.1	-1.3	-6.2	0.0	-2.7	4.7	0.0	-12.3	0.0	13.6	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2		-17.5	
	修正値	4.8	-3.1	-6.4	-1.0	-5.2	-2.5	-1.7	0.5	1.0	-6.1	-3.2	12.0	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	2.0	-9.1	
	傾向値	-3.9		-2.1		-3.1		-3.2		-2.8		-2.6		-4.2		-8.1				
	仕入価格	32.9	26.3	32.3	31.6	44.6	27.7	43.8	43.8	33.9	34.2	24.6	45.8	2.7	16.4	3.2	-5.4		4.8	
	修正値	38.0	27.0	30.6	31.0	46.4	31.9	40.5	42.9	40.3	35.9	25.7	44.3	7.9	22.3	4.0	-1.0	-4.0	9.3	
	傾向値	35.8		35.6		35.8		37.9		38.5		37.7		31.5		21.2				
在庫・資金繰り	在庫数量	11.8	1.3	12.3	0.0	15.4	7.7	6.8	12.5	13.6	2.7	13.3	13.6	10.8	8.3	14.1	5.4		6.5	
	修正値	12.2	2.2	14.1	-0.5	14.2	8.1	8.8	11.3	12.0	4.4	13.7	12.0	10.1	7.7	16.5	3.6	6.0	9.6	
	資金繰り	-26.3	-11.3	-10.8	-19.7	-21.5	-12.3	-26.0	-23.4	-23.7	-25.0	-31.1	-20.3	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9		-48.4	
修正値	-22.8	-11.9	-15.0	-20.1	-22.4	-13.8	-28.3	-26.0	-19.3	-24.0	-31.2	-18.5	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	17.0	-47.1		
前年同期比	売上額	-41.7		-9.7		-41.7		-39.0		-41.7		-48.5		-75.7		-71.2				
	収益	-60.0		-33.3		-44.4		-63.4		-50.0		-72.7		-81.1		-72.9				
	販売価格	-14.3		-3.4		-11.1		-7.3		-5.6		18.2		-21.6		-18.6				
雇用	残業時間	8.3	-12.5	-9.7	5.6	-27.8	-22.6	-2.5	-28.6	-16.7	-2.5	-6.3	-2.8	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7		-40.4	
	人手	-50.0	-46.2	-54.8	-38.9	-38.9	-54.8	-58.5	-40.0	-30.6	-51.2	-53.1	-36.1	-18.9	-56.3	5.2	-24.3		-1.7	
借入金	借入難易度	-5.7		-9.7		-2.8		-12.5		-2.9		-19.4		-19.4		14.8				
	借入をした(%)	25.0	13.2	35.5	23.5	25.0	17.9	30.0	16.7	24.2	17.9	38.7	14.7	25.7	17.2	57.9	36.1		29.5	
	借入をしな(%)	75.0	86.8	64.5	76.5	75.0	82.1	70.0	83.3	75.8	82.1	61.3	85.3	74.3	82.8	42.1	63.9		70.5	
有効回答事業所数	76		65		65		73		59		61		37		64					

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対 前期比	R2 7～9月期	
	H30 7～9月期	H30 10～12月期	H30 10～12月期	H30 10～12月期	H31 1～3月期	H31 1～3月期	H31～R1 4～6月期	H31～R1 4～6月期	R1 7～9月期	R1 7～9月期	R1 10～12月期	R1 10～12月期	R2 1～3月期	R2 1～3月期	R2 4～6月期	R2 4～6月期			
設備投資動向（%）	現在の設備	-20.0	-27.5	-16.7	-22.9	-25.0	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	-19.5	-9.7	-11.4	-8.6	-9.7	-15.8	-5.7	-15.8	
	実施した	38.7	29.4	26.7	24.1	28.1	30.0	38.5	30.3	31.4	32.4	46.7	23.5	37.5	33.3	31.0	25.8	20.8	
	投資内容																		
	事業用地・建物	6.5	5.9	13.3	3.4	6.3	6.7	7.7	6.1	2.9	8.8	10.0	2.9	6.3	7.4	6.9	3.2	5.7	
	機械・設備の新・増設	29.0	14.7	13.3	13.8	12.5	13.3	20.5	9.1	2.9	14.7	20.0	5.9	12.5	14.8	22.4	9.7	11.3	
	機械・設備の更改	19.4	17.6	10.0	10.3	12.5	23.3	17.9	15.2	20.0	14.7	20.0	11.8	18.8	14.8	10.3	12.9	15.1	
	事務機器	6.5	5.9	6.7	6.9	6.3	6.7	7.7	3.0	11.4	5.9	16.7	2.9	21.9	11.1	12.1	12.9	1.9	
	車両	9.7	5.9	6.7	3.4	3.1	0.0	10.3	9.1	2.9	14.7	3.3	8.8	9.4	7.4	6.9	0.0	3.8	
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	
	実施しない	61.3	70.6	73.3	75.9	71.9	70.0	61.5	69.7	68.6	67.6	53.3	76.5	62.5	66.7	69.0	74.2	79.2	
経営上の問題点（%）	売上の停滞・減少	63.6		41.9		58.3		52.6		54.3		69.7		77.1		85.5			
	人手不足	36.4		41.9		33.3		47.4		42.9		45.5		28.6		16.4			
	同業者間の競争の激化	6.1		19.4		11.1		13.2		20.0		18.2		5.7		5.5			
	大型店との競争の激化	3.0		6.5		2.8		5.3		11.4		6.1		2.9		1.8			
	輸入製品との競争の激化	0.0		3.2		0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		0.0			
	利幅の縮小	15.2		16.1		8.3		10.5		14.3		15.2		8.6		21.8			
	取扱商品の陳腐化	3.0		3.2		2.8		2.6		8.6		6.1		5.7		1.8			
	販売商品の不足	0.0		0.0		2.8		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0			
	販売納入先からの値下げ要請	3.0		0.0		2.8		5.3		2.9		0.0		0.0		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	12.1		9.7		13.9		13.2		17.1		15.2		0.0		5.5			
	人件費の増加	36.4		19.4		27.8		31.6		22.9		27.3		22.9		12.7			
	人件費以外の経費の増加	6.1		6.5		8.3		18.4		8.6		9.1		14.3		10.9			
	取引先の減少	12.1		6.5		19.4		15.8		11.4		15.2		11.4		9.1			
	商圏人口の減少	3.0		0.0		2.8		2.6		2.9		0.0		2.9		5.5			
	商店街の集客力の低下	12.1		25.8		19.4		13.2		8.6		15.2		14.3		12.7			
	店舗の狭小・老朽化	3.0		16.1		16.7		7.9		11.4		3.0		2.9		0.0			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		1.8			
	地価の高騰	3.0		0.0		2.8		2.6		2.9		3.0		2.9		0.0			
	駐車場の確保難	0.0		6.5		2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	30.3		25.8		11.1		7.9		20.0		21.2		17.1		14.5			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		1.8			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.8			
その他	0.0		6.5		2.8		7.9		0.0		0.0		34.3		18.2				
問題なし	6.1		3.2		5.6		2.6		0.0		3.0		2.9		1.8				
重点経営施策（%）	品揃えを改善する	23.5		16.1		31.4		22.0		27.8		25.0		14.7		25.5			
	経費を節減する	38.2		45.2		57.1		48.8		50.0		46.9		70.6		54.5			
	宣伝・広報を強化する	26.5		25.8		28.6		26.8		22.2		18.8		17.6		23.6			
	新しい事業を始める	8.8		9.7		5.7		9.8		13.9		9.4		2.9		16.4			
	店舗・設備を改装する	11.8		9.7		20.0		7.3		13.9		9.4		11.8		9.1			
	仕入先を開拓・選別する	26.5		25.8		22.9		9.8		19.4		21.9		11.8		14.5			
	営業時間を延長する	2.9		3.2		0.0		0.0		2.8		0.0		2.9		1.8			
	売れ筋商品を取扱う	14.7		12.9		14.3		24.4		30.6		12.5		17.6		21.8			
	商店街事業を活性化させる	2.9		6.5		5.7		2.4		13.9		12.5		8.8		3.6			
	機械化を推進する	2.9		3.2		0.0		2.4		5.6		9.4		0.0		1.8			
	人材を確保する	38.2		38.7		31.4		41.5		36.1		34.4		20.6		7.3			
	パート化を図る	0.0		6.5		2.9		2.4		8.3		12.5		8.8		5.5			
	教育訓練を強化する	14.7		12.9		14.3		19.5		8.3		21.9		8.8		3.6			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	14.7		6.5		8.6		2.4		2.8		9.4		5.9		9.1			
	その他	0.0		0.0		0.0		2.4		2.8		0.0		0.0		7.3			
	特になし	5.9		9.7		5.7		7.3		0.0		6.3		11.8		10.9			
有効回答事業所数		76		65		65		73		59		61		37		64			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対 前期比	R2 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期				
業況	良い	11.5	7.0	13.9	9.0	16.5	11.7	20.5	15.2	22.1	19.0	15.1	13.5	2.1	12.3	6.3	2.1		8.9	
	普通	60.3	57.0	57.0	65.4	51.9	58.4	44.6	50.6	44.2	46.8	54.8	43.2	31.3	57.5	16.5	27.7		24.1	
	悪い	28.2	36.0	29.1	25.6	31.6	29.9	34.9	34.2	33.8	34.2	30.1	43.2	66.7	30.1	77.2	70.2		67.1	
	D・I	-16.7	-29.1	-15.2	-16.7	-15.2	-18.2	-14.5	-19.0	-11.7	-15.2	-15.1	-29.7	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1		-58.2	
	修正値	-14.9	-23.9	-19.2	-23.6	-20.4	-19.8	-8.4	-20.4	-10.3	-7.9	-17.6	-32.4	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-3.0	-53.4	
	傾向値	-11.7		-12.4		-14.7		-15.7		-14.8		-14.1		-20.3		-33.5				
売上額	増加	20.5	7.0	28.2	18.2	14.1	16.7	28.9	19.2	10.4	24.7	19.2	20.0	4.3	11.3	8.9	8.5		21.8	
	変わらず	42.3	50.0	48.7	48.1	52.6	48.7	33.7	46.2	40.3	44.4	45.2	40.0	27.7	46.5	15.2	19.1		25.6	
	減少	37.2	43.0	23.1	33.8	33.3	34.6	37.3	34.6	49.4	30.9	35.6	40.0	68.1	42.3	75.9	72.3		52.6	
	D・I	-16.7	-36.0	5.1	-15.6	-19.2	-17.9	-8.4	-15.4	-39.0	-6.2	-16.4	-20.0	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8		-30.8	
	修正値	-19.4	-33.9	0.2	-20.3	-18.5	-15.1	-3.4	-18.4	-37.8	-2.4	-20.1	-22.7	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-3.0	-29.3	
	傾向値	-10.0		-8.8		-8.7		-10.0		-12.6		-18.1		-26.3		-39.2				
収益	増加	17.9	9.2	24.7	14.1	12.8	15.8	22.9	15.4	11.8	19.5	17.8	17.6	10.4	11.3	8.9	10.4		16.7	
	変わらず	43.6	50.6	48.1	47.4	53.8	46.1	37.3	48.7	42.1	48.8	47.9	41.9	25.0	54.9	13.9	16.7		26.9	
	減少	38.5	40.2	27.3	38.5	33.3	38.2	39.8	35.9	46.1	31.7	34.2	40.5	64.6	33.8	77.2	72.9		56.4	
	D・I	-20.5	-31.0	-2.6	-24.4	-20.5	-22.4	-16.9	-20.5	-34.2	-12.2	-16.4	-23.0	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5		-39.7	
	修正値	-21.9	-30.7	-5.7	-28.2	-23.3	-19.6	-11.2	-20.9	-33.8	-12.2	-18.8	-25.2	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-11.0	-39.7	
	傾向値	-14.0		-13.5		-13.9		-15.3		-16.8		-20.3		-26.2		-36.9				
価格動向	料金価格	-5.2	-7.1	0.0	-3.9	2.6	1.3	0.0	5.2	-2.6	-1.2	-5.5	4.0	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0		-21.3	
	修正値	-6.7	-6.2	-1.7	-4.2	1.6	0.3	1.4	3.1	-2.3	0.0	-5.6	3.6	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-5.0	-20.0	
	傾向値	0.5		-0.1		-0.6		-0.6		-0.3		-0.7		-3.8		-9.0				
	材料価格	23.6	28.6	28.6	22.2	30.3	34.2	30.1	38.2	26.0	28.0	16.4	32.0	19.6	16.7	9.5	10.9		2.7	
	修正値	26.5	28.0	28.6	26.3	32.0	34.0	28.1	36.9	27.8	27.2	18.1	33.5	20.7	17.8	10.6	11.9	-10.0	5.1	
傾向値	25.0		26.8		27.6		28.1		28.4		27.2		24.4		20.4					
在庫・資金繰り	資金繰り	-6.4	-19.5	-9.0	-12.8	-15.2	-13.0	-12.0	-15.2	-13.0	-15.9	-5.5	-20.0	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7		-41.8	
	修正値	-8.2	-18.6	-12.5	-16.5	-15.1	-15.7	-10.1	-14.4	-12.5	-12.6	-8.0	-21.1	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-14.0	-37.7	
前年同期比	売上額	-12.9		-5.6		-3.7		-1.5		-16.7		-28.6		-56.5		-62.5				
	収益	-10.8		-1.8		-10.9		-10.1		-20.0		-32.1		-63.8		-68.1				
雇用	残業時間	1.5	-13.3	-10.9	1.5	-10.7	-7.4	-4.3	-7.3	-8.3	-11.8	-17.9	-13.3	-35.4	-16.4	-57.5	-41.7		-38.4	
	人手	-50.0	-42.7	-50.0	-52.4	-50.0	-45.3	-46.4	-48.1	-52.5	-46.4	-48.2	-50.0	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0		-15.3	
借入金	借入難易度	8.3		5.7		0.0		-5.9		-3.4		1.9		-8.7		1.4				
	借入をした(%)	17.5	14.9	22.2	11.9	24.6	3.8	19.7	16.1	22.0	20.6	20.0	7.1	26.1	9.3	40.6	20.9		23.9	
	借入をしな(%)	82.5	85.1	77.8	88.1	75.4	96.2	80.3	83.9	78.0	79.4	80.0	92.9	73.9	90.7	59.4	79.1		76.1	
有効回答事業所数	78		79		79		83		77		74		48		79					

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対前期比	R2 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期				
現在の設備	-9.5	-10.5	-14.5	-4.8	-12.3	-14.5	-14.5	-10.7	-11.5	-8.7	-14.5	-11.5	-6.3	-22.2	-4.3	0.0				-4.3
実施した	40.3	29.0	33.3	29.0	28.6	24.5	37.3	27.3	41.7	32.3	46.3	26.4	37.0	35.8	31.0	23.3				20.9
設備投資動向（％）																				
事業用地・建物	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	3.0	3.6	5.0	1.6	1.9	3.8	0.0	1.9	2.8	2.3				6.0
機械・設備の新・増設	11.3	8.7	3.7	6.5	5.4	3.8	13.4	7.3	10.0	11.3	22.2	5.7	15.2	13.2	11.3	7.0				6.0
機械・設備の更改	14.5	10.1	11.1	12.9	10.7	13.2	9.0	10.9	16.7	16.1	14.8	13.2	13.0	9.4	8.5	7.0				7.5
事務機器	12.9	4.3	9.3	8.1	8.9	7.5	16.4	10.9	16.7	9.7	14.8	3.8	8.7	11.3	9.9	7.0				6.0
車両	17.7	11.6	16.7	8.1	10.7	9.4	14.9	10.9	21.7	14.5	18.5	5.7	19.6	15.1	9.9	9.3				10.4
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	3.3	1.6	1.9	0.0	2.2	1.9	1.4	2.3				0.0
実施しない	59.7	71.0	66.7	71.0	71.4	75.5	62.7	72.7	58.3	67.7	53.7	73.6	63.0	64.2	69.0	76.7				79.1
経営上の問題点（％）																				
売上の停滞・減少	36.9		38.2		56.4		37.5		43.3		40.7		60.4		65.7					
人手不足	46.2		34.5		49.1		46.9		50.0		51.9		47.9		22.9					
同業者間の競争の激化	18.5		27.3		18.2		17.2		16.7		22.2		10.4		15.7					
大手企業との競争の激化	0.0		3.6		1.8		3.1		5.0		1.9		4.2		2.9					
合理化の不足	7.7		5.5		5.5		6.3		3.3		5.6		2.1		8.6					
利幅の縮小	27.7		25.5		20.0		20.3		16.7		14.8		22.9		20.0					
取扱事務の陳腐化	1.5		1.8		0.0		0.0		1.7		0.0		0.0		1.4					
材料価格の上昇	12.3		9.1		12.7		15.6		15.0		7.4		8.3		1.4					
料金の値下げ要請	1.5		1.8		0.0		3.1		3.3		5.6		6.3		2.9					
人件費の増加	21.5		30.9		29.1		25.0		25.0		35.2		27.1		20.0					
人件費以外の経費の増加	3.1		7.3		9.1		6.3		15.0		7.4		10.4		7.1					
技術力の不足	13.8		9.1		10.9		12.5		10.0		11.1		10.4		10.0					
取引先の減少	15.4		12.7		12.7		10.9		5.0		5.6		10.4		7.1					
商圏人口の減少	3.1		1.8		3.6		1.6		3.3		1.9		0.0		0.0					
地価の高騰	0.0		0.0		3.6		3.1		0.0		1.9		0.0		0.0					
駐車場の確保難	6.2		3.6		3.6		1.6		5.0		3.7		2.1		2.9					
店舗・設備の狭小・老朽化	1.5		0.0		5.5		1.6		6.7		3.7		4.2		7.1					
代金回収の悪化	3.1		1.8		1.8		1.6		1.7		1.9		2.1		0.0					
天候の不順	3.1		3.6		3.6		3.1		8.3		9.3		4.2		8.6					
地場産業の衰退	0.0		1.8		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
大手企業・工場の縮小・撤退	1.5		5.5		0.0		1.6		5.0		0.0		0.0		0.0					
その他	1.5		1.8		1.8		3.1		3.3		1.9		8.3		11.4					
問題なし	4.6		5.5		5.5		6.3		3.3		7.4		4.2		1.4					
重点経営施策（％）																				
販路を広げる	39.7		46.3		43.9		41.8		36.1		39.3		42.6		37.0					
経費を節減する	33.3		38.9		47.4		40.3		42.6		48.2		44.7		49.3					
宣伝・広告を強化する	11.1		7.4		10.5		17.9		13.1		12.5		14.9		12.3					
新しい事業を始める	12.7		13.0		15.8		11.9		9.8		14.3		14.9		12.3					
店舗・設備を改装する	1.6		0.0		3.5		1.5		4.9		0.0		2.1		4.1					
提携先を見つける	11.1		11.1		7.0		4.5		9.8		3.6		6.4		6.8					
技術力を強化する	15.9		22.2		21.1		26.9		18.0		21.4		21.3		17.8					
機械化を促進する	3.2		5.6		3.5		1.5		1.6		1.8		0.0		4.1					
人材を確保する	50.8		51.9		47.4		46.3		45.9		55.4		48.9		35.6					
パート化を図る	3.2		1.9		1.8		3.0		3.3		1.8		4.3		2.7					
教育訓練を強化する	15.9		9.3		15.8		11.9		11.5		16.1		14.9		13.7					
労働条件を改善する	14.3		7.4		14.0		7.5		14.8		14.3		6.4		9.6					
不動産の有効活用を図る	1.6		5.6		3.5		1.5		3.3		1.8		0.0		4.1					
その他	0.0		0.0		0.0		0.0		3.3		1.8		2.1		9.6					
特になし	7.9		9.3		8.8		4.5		8.2		5.4		6.4		2.7					
有効回答事業所数		78		79		79		83		77		74		48		79				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対 前期比	R2 7～9月期	
	H30 7～9月期	H30 10～12月期	H30 10～12月期	H30 10～12月期	H31 1～3月期	H31 1～3月期	H31～R1 4～6月期	H31～R1 4～6月期	R1 7～9月期	R1 7～9月期	R1 10～12月期	R1 10～12月期	R2 1～3月期	R2 1～3月期	R2 4～6月期	R2 4～6月期			
業況	良い	19.5	18.7	16.9	20.0	21.4	18.6	17.8	17.4	20.8	14.9	21.1	21.3	18.5	14.5	2.2	6.3		3.2
	普通	36.4	44.0	45.1	54.7	42.9	44.3	37.8	43.5	41.6	40.2	49.3	33.3	36.9	49.3	22.6	29.7		17.2
	悪い	44.2	37.4	38.0	25.3	35.7	37.1	44.4	39.1	37.7	44.8	29.6	45.3	44.6	36.2	75.3	64.1		79.6
	D・I	-24.7	-18.7	-21.1	-5.3	-14.3	-18.6	-26.7	-21.7	-16.9	-29.9	-8.5	-24.0	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8		-76.3
	修正値	-16.7	-19.2	-28.8	-9.8	-24.0	-26.3	-10.4	-7.2	-10.8	-27.7	-17.3	-28.0	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-33.0	-73.5
	傾向値	-9.9		-12.8		-18.8		-21.7		-20.7		-18.2		-18.1		-25.3			
売上額	増加	22.1	33.3	26.8	32.5	28.6	23.9	18.9	8.6	20.8	20.2	23.9	28.9	21.5	25.7	7.5	9.4		14.0
	変らず	28.6	30.1	35.2	45.5	41.4	39.4	28.9	37.1	39.0	37.1	39.4	32.9	26.2	40.0	15.1	21.9		17.2
	減少	49.4	36.6	38.0	22.1	30.0	36.6	52.2	54.3	40.3	42.7	36.6	38.2	52.3	34.3	77.4	68.8		68.8
	D・I	-27.3	-3.2	-11.3	10.4	-1.4	-12.7	-33.3	-45.7	-19.5	-22.5	-12.7	-9.2	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4		-54.8
	修正値	-28.3	-12.6	-21.4	-2.0	-11.1	-14.7	-10.8	-26.0	-18.5	-27.9	-22.3	-21.0	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-20.0	-54.9
	傾向値	-15.1		-17.4		-19.3		-19.1		-17.4		-16.6		-20.4		-28.6			
受注残	増加	14.3	28.0	14.3	22.1	15.7	14.3	13.3	11.4	11.7	20.2	25.4	25.3	14.1	17.4	4.3	6.3		14.3
	変らず	42.9	37.6	55.7	53.2	44.3	57.1	45.6	44.3	50.6	41.6	32.4	36.0	43.8	37.7	22.8	33.3		23.1
	減少	42.9	34.4	30.0	24.7	40.0	28.6	41.1	44.3	37.7	38.2	42.3	38.7	42.2	44.9	72.8	60.3		62.6
	D・I	-28.6	-6.5	-15.7	-2.6	-24.3	-14.3	-27.8	-32.9	-26.0	-18.0	-16.9	-13.3	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0		-48.4
	修正値	-29.4	-13.7	-25.7	-10.5	-21.4	-18.4	-17.2	-13.2	-26.1	-22.9	-27.2	-21.1	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-34.0	-49.2
	傾向値	-15.9		-19.6		-23.1		-24.2		-23.8		-23.6		-24.2		-29.8			
施工高	増加	19.5	31.2	28.2	28.6	24.3	22.5	16.7	8.6	22.1	24.7	25.7	28.9	26.6	24.6	5.4	9.5		14.3
	変らず	35.1	30.1	35.2	45.5	50.0	39.4	32.2	41.4	29.9	33.7	35.7	27.6	26.6	31.9	14.1	25.4		17.6
	減少	45.5	38.7	36.6	26.0	25.7	38.0	51.1	50.0	48.1	41.6	38.6	43.4	46.9	43.5	80.4	65.1		68.1
	D・I	-26.0	-7.5	-8.5	2.6	-1.4	-15.5	-34.4	-41.4	-26.0	-16.9	-12.9	-14.5	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6		-53.8
	修正値	-28.3	-15.0	-20.3	-7.8	-10.7	-20.4	-7.3	-18.8	-25.7	-21.1	-23.2	-24.3	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-35.0	-53.5
	傾向値	-13.7		-15.7		-17.3		-17.5		-17.6		-18.1		-21.0		-28.5			
収益	増加	13.0	22.6	28.2	27.3	20.0	19.7	12.2	8.6	16.9	14.6	19.7	22.4	18.5	14.3	6.5	6.3		14.0
	変らず	33.8	41.9	29.6	41.6	37.1	40.8	34.4	45.7	35.1	37.1	46.5	38.2	29.2	45.7	17.2	26.6		14.0
	減少	53.2	35.5	42.3	31.2	42.9	39.4	53.3	45.7	48.1	48.3	33.8	39.5	52.3	40.0	76.3	67.2		72.0
	D・I	-40.3	-12.9	-14.1	-3.9	-22.9	-19.7	-41.1	-37.1	-31.2	-33.7	-14.1	-17.1	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9		-58.1
	修正値	-40.7	-20.1	-23.7	-14.4	-28.5	-25.6	-23.7	-14.7	-30.8	-35.8	-24.8	-26.3	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-22.0	-56.9
	傾向値	-20.8		-23.7		-26.5		-29.0		-28.4		-27.3		-28.7		-33.7			
価格動向	請負価格	-24.7	-11.8	-4.2	-5.2	-10.1	-7.0	-18.9	-22.9	-18.2	-16.9	-21.1	-18.4	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1		-44.1
	修正値	-24.3	-12.3	-10.2	-9.1	-15.1	-11.1	-10.2	-15.7	-15.8	-15.1	-24.6	-20.9	-27.6	-24.2	-41.3	-32.6	-14.0	-41.0
	傾向値	-12.5		-12.4		-13.2		-14.4		-13.7		-15.0		-18.9		-24.5			
	材料価格	40.8	26.4	34.8	32.9	40.3	43.5	44.8	41.8	48.6	41.9	45.6	52.8	37.7	38.8	19.1	35.0		21.6
	修正値	39.6	28.9	38.2	33.7	40.9	43.9	45.8	43.4	46.5	44.3	46.9	51.0	38.6	38.6	23.0	35.9	-16.0	26.2
	傾向値	30.4		33.2		35.4		38.4		41.2		43.5		44.5		41.0			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	6.7	1.1	12.1	8.0	-1.5	7.6	-3.5	3.1	-1.4	-6.0	1.5	-5.6	-4.9	-1.5	1.1	-8.3		-2.3
	修正値	3.6	2.1	12.0	5.9	-1.2	7.0	-1.9	1.4	-2.0	-3.0	1.3	-4.9	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	6.0	0.4
	資金繰り	-16.9	-21.5	-20.0	-11.7	-15.9	-15.7	-10.1	-27.5	-6.5	-20.5	-16.9	-12.0	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9		-41.3
修正値	-16.4	-23.2	-20.7	-13.3	-16.2	-14.4	-10.9	-26.3	-7.4	-21.4	-15.3	-14.8	-26.1	-20.0	-35.3	-31.5	-9.0	-39.9	
前年同期比	売上額	-23.6		-28.2		-29.2		-20.5		-14.3		-21.7		-18.5		-69.9			
	収益	-37.0		-31.4		-40.0		-30.3		-27.6		-26.1		-27.7		-69.9			
雇用	残業時間	-21.6	-11.0	-2.8	-4.1	-7.7	5.6	-27.3	-23.1	-22.1	-10.2	-24.6	-13.2	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7		-47.8
	人手	-48.6	-49.5	-56.3	-58.1	-69.2	-54.9	-41.6	-43.1	-52.6	-48.3	-53.6	-50.0	-50.8	-48.5	2.2	-31.7		-5.5
借入金	借入難易度	8.5		8.7		0.0		-1.2		6.6		-2.9		-13.3		2.3			
	借入をした(%)	28.8	13.1	26.8	21.1	32.3	18.2	29.9	31.7	26.0	15.7	32.8	18.9	31.1	25.4	33.7	20.3		35.3
	借入をしない(%)	71.2	86.9	73.2	78.9	67.7	81.8	70.1	68.3	74.0	84.3	67.2	81.1	68.9	74.6	66.3	79.7		64.7
有効回答事業所数		77		71		70		90		77		71		65		93			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H30		H30		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		対 前期比	R2 7～9月期
	7～9月期	10～12月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		
設備投資動向（％）	現在の設備	-6.9	0.0	-6.1	-8.3	-19.0	-7.6	-10.3	-9.5	-17.1	-12.8	-1.5	-16.0	-6.3	-1.6	-6.7	-1.6			-9.0
	実施した	21.7	28.2	38.8	20.6	32.2	32.8	35.8	32.8	31.5	32.5	28.1	31.5	35.2	28.1	32.9	32.1			22.9
	事業用地・建物	1.4	4.7	4.5	1.5	6.8	3.1	2.5	4.9	1.4	2.4	4.7	6.8	1.9	6.3	3.5	1.9			3.6
	機械・設備の新・増設	0.0	4.7	11.9	1.5	1.7	9.4	6.2	3.3	8.2	2.4	4.7	8.2	5.6	4.7	10.6	3.8			7.2
	機械・設備の更改	4.3	4.7	3.0	2.9	5.1	6.3	6.2	4.9	5.5	6.0	7.8	4.1	9.3	4.7	3.5	3.8			4.8
	事務機器	14.5	9.4	20.9	10.3	20.3	9.4	13.6	13.1	12.3	14.5	17.2	8.2	24.1	17.2	18.8	18.9			10.8
	車両	15.9	15.3	20.9	14.7	11.9	20.3	19.8	19.7	27.4	19.3	12.5	23.3	18.5	12.5	16.5	15.1			8.4
	その他	0.0	1.2	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0			0.0
	実施しない	78.3	71.8	61.2	79.4	67.8	67.2	64.2	67.2	68.5	67.5	71.9	68.5	64.8	71.9	67.1	67.9			77.1
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	31.9		37.7		40.3		43.7		33.8		40.9		45.9		67.0			
人手不足		55.6		53.6		61.3		46.0		43.2		50.0		39.3		31.9				
大手企業との競争の激化		2.8		4.3		1.6		1.1		6.8		4.5		6.6		3.3				
同業者間の競争の激化		23.6		15.9		12.9		16.1		17.6		13.6		9.8		17.6				
親企業による選別の強化		0.0		4.3		3.2		4.6		4.1		3.0		0.0		0.0				
合理化の不足		4.2		1.4		1.6		3.4		2.7		3.0		3.3		4.4				
利幅の縮小		25.0		17.4		25.8		24.1		29.7		30.3		26.2		33.0				
材料価格の上昇		15.3		15.9		27.4		17.2		14.9		15.2		13.1		7.7				
下請の確保難		18.1		26.1		21.0		29.9		29.7		30.3		31.1		19.8				
駐車場・資材置場の確保難		2.8		4.3		1.6		4.6		5.4		4.5		1.6		5.5				
人件費の増加		23.6		24.6		17.7		20.7		14.9		18.2		23.0		13.2				
人件費以外の経費の増加		5.6		11.6		8.1		5.7		9.5		9.1		13.1		9.9				
技術力の不足		16.7		11.6		12.9		10.3		12.2		9.1		4.9		8.8				
代金回収の悪化		0.0		0.0		1.6		2.3		1.4		0.0		0.0		1.1				
天候の不順		15.3		4.3		3.2		3.4		4.1		6.1		0.0		2.2				
地場産業の衰退		0.0		0.0		0.0		4.6		2.7		0.0		3.3		0.0				
大手企業・工場の縮小・撤退		0.0		5.8		0.0		0.0		2.7		1.5		1.6		1.1				
その他	1.4		0.0		0.0		1.1		0.0		3.0		9.8		3.3					
問題なし	1.4		2.9		3.2		3.4		6.8		3.0		6.6		6.6					
重点経営施策（％）	販路を広げる	24.3		36.2		33.3		31.0		36.5		35.8		32.8		28.9				
	経費を節減する	35.1		33.3		25.4		34.5		31.1		37.3		37.5		37.8				
	情報力を強化する	27.0		30.4		23.8		20.7		18.9		19.4		17.2		27.8				
	新しい工法を導入する	1.4		2.9		1.6		6.9		4.1		9.0		4.7		4.4				
	新しい事業を始める	4.1		1.4		7.9		4.6		5.4		4.5		1.6		11.1				
	技術力を高める	39.2		29.0		31.7		32.2		36.5		32.8		25.0		35.6				
	人材を確保する	55.4		52.2		58.7		52.9		54.1		41.8		48.4		38.9				
	パート化を図る	2.7		2.9		0.0		2.3		4.1		0.0		1.6		0.0				
	教育訓練を強化する	9.5		13.0		11.1		10.3		13.5		17.9		14.1		15.6				
	労働条件を改善する	17.6		11.6		14.3		16.1		17.6		13.4		17.2		13.3				
	不動産の有効活用を図る	2.7		4.3		4.8		1.1		4.1		3.0		1.6		2.2				
	その他	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		0.0				
特になし	10.8		7.2		4.8		8.0		9.5		6.0		15.6		8.9					
有効回答事業所数		77		71		70		90		77		71		65		93				

調査の概要

1. 調査時期 令和2年4月～6月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	86
卸売業	102	80
小売業	102	64
サービス業	102	79
建設業	102	93
合計	510	402